

JCM

設立20周年記念誌

CONTENTS

- 1 挨拶 設立20周年を迎えて**
(一社)全国土木施工管理技士会連合会会長 小林 康昭
- 2 祝辞 設立20周年に寄せて**
国土交通省技監(現 国土交通事務次官) 佐藤 直良
- 3 全国技士会**
4 ◆写真で見る全国技士会
10 ◆設立20周年記念事業
14 ◆全国技士会の活動状況
17 ◆グラフで見る全国技士会
18 コラム 一枚の名刺
- 19 都道府県等技士会**
20 ◆技士会の紹介
22 ◆技士会の活動状況
- 73 資料編**
74 ◆土木施工管理技士とは
75 ◆全国技士会定款(抜粋)
76 ◆全国技士会年表
82 ◆全国技士会歴代役員一覧

挨拶 設立20周年を迎えて



一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会 会長
小林 康昭

一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会は、平成24年2月27日に創立20周年目を迎えることになりました。遡れば昭和44年に、当時の建設省によって、国家資格制度の土木施工管理技術検定制度が発足し、同年に1級土木施工管理技術認定試験を、翌年に2級土木施工管理技術認定試験を実施して、爾来毎年、世に陸続と土木施工管理技士が送り出されて参りました。

土木施工管理技士制度の発足時には、この資格を実務に活かす仕組みが必ずしも明確とはいえず、制度に対する世間の認識も、資格に対する当事者の自覚も確立していないきらいがあり、それ故に、資格者が集まって組織を作る気運は、なかなか醸成しなかった様であります。現在の全国土木施工技士会連合会の前身である資料頒布会は、昭和49年に任意団体として発足しましたが、そうした中で、全国に先駆けて初の技士会が静岡県に誕生したのが、昭和51年でありました。その後、県や市などの自治体区域単位の土木施工管理技士会が誕生し、平成4年2月27日に、当時の建設大臣から法人設立許可を得て、25の都道府県単位の土木施工管理技士会から成る連合体の全国土木施工管理技士会連合会が発足しました。その後の20年間に、全国すべての都道府県技士会が連合会に加入し、併せて10万を超える個人会員を擁するに至りました。これもひとえに、各位のご支援の賜と深く感謝をしております。国家資格を取得した民間の土木技術者が、自らの資質と地位の向上を求めて自然発生的に始めた活動こそ、この制度が抱く理念そのものであると言えましょう。そして即ち連合会の存在感にも繋がるものであると思います。そして平成24年4月からは、新たに一般社団法人として歩み始めることになりました。

連合会は、創立時からの志を見失わず先達の思いを忘れず、激変する時代の動きをつかみ、技士の皆様の日頃のご労苦に報い、志しを支えることができる様に、技士個人の技術力と社会的地位の向上、施工技術の発展、現場改善、などに向けて、なお一層の努力を続けてまいり所存であります。今後とも皆様方のご支援、ご協力をお願いいたします。

祝辞 設立20周年に寄せて



国土交通省 技監（現 国土交通事務次官）
佐藤 直良

全国土木施工管理技士会連合会の設立20周年まことにおめでとうございます。

「土木施工管理技士」は、国土交通省所管の建設業法の技術検定制度による国家資格の一つであります。これは、高度化する技術を駆使して良質な社会資本を円滑に整備するうえで重要な役割を担っている、国民生活に深い関わりを持つ資格であります。

貴会の活動起源は、資格を取っただけでは不十分だと考える向学心に燃えた方々の間から自発的に始まったものと聞いております。

貴会の主たる事業であるCPDS（継続教育）はまさにそうした伝統の中から生まれた制度だと思えます。

平成17年の品質確保法の施行により、品質をより重視して公共事業を評価する総合評価方式を導入することといたしました。国土交通省でも技術力の優れた企業を伸ばすために、CPDSを含めた継続教育を評価項目に広く採用しています。

貴会はまた現場における技術者の声を集約して発注者に伝える意見交換会を実施し、発注者の良きパートナーとして工事現場の様々な改善に努められています。このことは、建設産業の発展とともに、国土交通行政の推進に対して大きく寄与するものであります。

そして記念すべき20周年の本年に一般社団法人として再スタートすることは、ご同慶の至りでございます。

昨年3月11日の東日本大震災によって、我が国は災害史上未曾有の大災害に見舞われました。東北地方では、今後の国土管理の規範となるような本格復旧、本格復興を確実に進めることに全力を注いでいるところであります。全国的には、災害に強い地域づくりとあわせて「持続可能で活力ある国土・地域づくり」の実現に向け現在様々な検討を進めています。地域を創り支えている建設業や土木施工管理技士の方々の役割は非常に大きなものであり、貴会には重要な役割を担って頂くことになると期待しております。

貴会が今後も土木施工管理技士の技術力研鑽と地位の向上に一層貢献され、社会基盤の充実の核となられるとともに、個々の土木施工管理技士が社会的使命と責務の遂行に取り組んでいられることを切に願ひ、私のお祝いの言葉といたします。



全国技士会



写真で見る 全国技士会

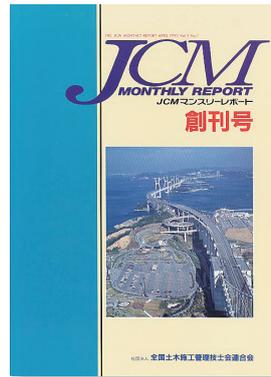
初代会長
増岡 康司
平成4年～平成8年



土木施工管理技士会会報
(PR号)
昭和52年8月1日



設立記念誌 平成4年



マンスリーレポート創刊号
平成4年4月15日



法人設立披露祝賀会 感謝状受賞者 平成4年6月25日



法人設立披露祝賀会 (任意団体) 全国土木施工管理技士会
会長 中村 進 (左から2人目)

第一期10年
平成4年～



韓国建設
技術人協会
来訪
平成4年
6月19日



事務局長会議 平成4年7月31日



事務所移転（千代田区市ヶ谷）平成6年12月9日



平成8年度総会
2代目会長 長尾 満
平成9年～平成12年
(左から2人目)
3代目会長 本山 翁
平成12年～平成16年
(右から2人目)
平成9年3月25日



全国技士会
レクリエーション
(ハゼ釣り)
平成8年11月16日



第1回技術論文授賞式 平成9年7月11日

***** JCM *****

土木施工管理技士会倫理綱領

会員は、国家資格者として誇りと品格を保ち、常に自己の資質と技術の向上に努め、社会に貢献すること。

(誇りを持つ)

1. 土木技術の国家資格者として誇りを持って行動し、日頃から技術の研鑽^{けんくわん}に励むこと。
(技術力を活かそう)
2. 技術者として自己の専門的知識及び経験をもって良質な物を作ること。
(公正な行動をしよう)
3. 携わる事業の性質から、公正・清廉^{たつと}を尚び、広く模範となる行動をすること。
(ボランティアに参加する等、社会に貢献しよう)
4. 技術者として知識・経験を活かし、災害時等はもちろん、普段の生活においても、地域活動や社会奉仕に積極的に参加するよう努めること。

社団法人 全国土木施工管理技士会
(平成9年3月25日)

土木施工管理技士会倫理綱領 平成9年3月25日



建設省へ要望書提出 平成10年3月22日



技術論文表彰式 特別講演会 田村 喜子氏
平成10年7月16日



建設大臣表彰式 平成11年7月12日



建設大臣表彰状・楯



土木施工管理技術士
誕生30周年記念式典
記念講演会
橋本 秀紀氏
平成12年7月18日



CPDS講習会
平成12年8月23日



CPD等調査団
米国派遣
(NSPEインタビュー)
平成12年9月

5回技術論文表彰式
全国土木施工管理技士会連合



技術論文表彰式 記念講演 国土交通省技監 青山 俊樹氏
平成13年7月17日



韓国建設技術人協会来訪 平成14年3月22日

第二期10年
平成14年～



全国技士会送別会 平成14年5月27日



設立10周年記念式典 記念講演会 高橋 裕氏
平成14年7月23日



JCMマンスリーレポート
設立10周年記念号
平成14年7月15日



設立10周年記念式典 特別感謝状授与
顧問 中村 進



4代目会長
豊田 高司
平成15年～平成19年



国土交通省との意見交換会 平成17年11月24日



技術講演会 講師 中村 哲氏 平成19年5月30日



全国事務局長会議 平成19年6月29日



5代目会長 小林 康昭 平成20年～



CPDS商標登録 平成22年8月6日



技術講演会
講師 米田 雅子氏
平成20年5月30日



実務担当者会議
平成22年12月14日



現場改善等調査団欧州派遣
(英国ICEインタビュー)
平成23年1月



平成23年度総会（東北大震災でお亡くなりになった方々に黙祷を捧げる） 平成23年5月30日



全国技士会納会
(事務所内)
平成22年12月28日



東北大震災視察（岩手県）
護岸に打ち上げられた船舶



東北大震災視察（岩手県） 平成23年8月25日

平成23年東北大震災視察
全国土木施工管理技士会連合会



東日本大震災視察（宮城県）
南三陸役場防災対策庁舎
平成24年8月7日



設立20周年記念事業

式典

平成24年5月28日(月) 15:20～ アルカディア市ヶ谷 富士の間西

感謝状贈呈

技士会の「これまで」そして「これから」

全国技士会連合会専務理事 猪熊 明

記念講演「小惑星探査機『はやぶさ』の挑戦と危機克服」

宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 宇宙科学研究所准教授 西山 和孝 様

来賓

国土交通省	技監	佐藤 直良 様
国土交通省大臣官房	技術総括審議官	林田 博 様
国土交通省大臣官房	技術審議官	深澤 淳志 様
国土交通省大臣官房	技術参事官	橋場 克司 様
国土交通省港湾局	局長	山縣 宣彦 様
代理	技術参事官	福田 功 様
国土交通省関東地方整備局	局長	下保 修 様
(独) 土木研究所	理事長	魚本 健人 様
芝浦工業大学	教授	谷口 博昭 様
(財) 建設業技術者センター	理事長	三谷 浩 様
(社) 全日本建設技術協会	会長	松田 芳夫 様
(財) 地域開発研究所	理事長	林 桂一 様
(公社) 土木学会	会長	山本 卓朗 様
(一財) 土木研究センター	理事長	中村 亮 様
(社) 日本橋梁・鋼構造物塗装技術協会	会長	鈴木 精一 様



式辞 会長 小林 康昭



祝辞 国土交通省大臣官房
技術総括審議官 林田 博 氏

感謝状贈呈者

感謝状：「永年にわたり技士会会長として技士会の発展にご尽力し、その功績が顕著な者」
として各県等技士会会長の中で、10年以上在任及び、8年以上で連合会理事並びに企画運
営委員としてご活躍いただいた方

元	(一社)北海道土木施工管理技士会会長	上田 俊一	様
元	(一社)北海道土木施工管理技士会会長	倉橋 力雄	様
元	青森県土木施工管理技士会会長	脇川 利勝	様
元	岩手県土木施工管理技士会会長	望月 茂	様
元	宮城県土木施工管理技士会会長	奥田 和男	様
元	秋田県土木施工管理技士会会長	北林 一成	様
元	茨城県土木施工管理技士会会長	武藤 彬	様
元	茨城県土木施工管理技士会会長	岡部 英男	様
元	栃木県土木施工管理技士会会長	高内 壮介	様
元	群馬県土木施工管理技士会会長	池原 透	様
元	埼玉県土木施工管理技士会会長	島崎 敬一	様
元	神奈川県土木施工管理技士会会長	松尾助右衛門	様
元	石川県土木施工管理技士会会長	鶴山 務	様
元	山梨県土木施工管理技士会会長	桑原 隆	様
元	山梨県土木施工管理技士会会長	依田 一志	様
元	長野県土木施工管理技士会会長	山浦 和人	様
元	岐阜県土木施工管理技士会会長	前田 守廣	様
元	(一社)静岡県土木施工管理技士会会長	中村 進	様
元	愛知県土木施工管理技士会会長	原 俊夫	様
元	愛知県土木施工管理技士会会長	藤井千代喜	様
元	三重県土木施工管理技士会会長	宮本 武蔵	様
元	(社)滋賀県土木施工管理技士会会長	小原 敬治	様
元	京都府土木施工管理技士会会長	絹川 治	様
元	兵庫県土木施工管理技士会会長	三木 尚敏	様
元	島根県土木施工管理技士会会長	筒井 寛	様
元	岡山県土木施工管理技士会会長	萩原 明	様
元	広島県土木施工管理技士会会長	柴田 修三	様
元	広島県土木施工管理技士会会長	武田 寛	様
元	徳島県土木施工管理技士会会長	池田 孝司	様
元	徳島県土木施工管理技士会会長	佐々木 久	様
元	香川県土木施工管理技士会会長	別枝 明	様
元	香川県土木施工管理技士会会長	村上 博	様
元	(社)高知県土木施工管理技士会会長	北村 牛基	様
元	(社)高知県土木施工管理技士会会長	宮田 益吉	様
元	福岡県土木施工管理技士会会長	平田 昭義	様
元	長崎県土木施工管理技士会会長	高瀬 富夫	様
元	大分県土木施工管理技士会会長	岡部 俊宏	様
元	鹿児島県土木施工管理技士会会長	上東 信義	様
元	沖縄県土木施工管理技士会会長	大城 栄信	様
元	沖縄県土木施工管理技士会会長	小波津英正	様

特別感謝状：「当会の事業に多大なるご支援をいただき、その功績が顕著な者」としてCPDS
導入時にご貢献いただいた方

元	千葉県土木施工管理技士会専務理事	小林 亨	様
元	(社)鳥取県土木施工管理技士会事務局長	堀 秀夫	様
元	広島県土木施工管理技士会事務局長	谷口 光司	様
元	愛媛県土木施工管理技士会事務局長	武田 高保	様



技士会の「これまで」そして「これから」
専務理事 猪熊 明



記念講演
JAXA宇宙科学研究所准教授
西山 和孝 氏

小惑星探査ミッション「はやぶさ」

2005年 小惑星に着陸 サンプル採集

2004年 地球 スイングバイ

2009年 打ち上げ

2010年6月 3億km離れた月よりも800倍遠い小惑星との世界初の往復探査。7年間で60億km飛行。

エンジントラブルを裏技で克服

電源故障に備えて搭載したバイパスダイオードが別系統のイオン源Aと中和器Bの組み合わせ動作を可能に

神奈川相模原市の宇宙科学研究所の展示室にある実物大模型

大きさ: 1.0m x 1.6m x 1.1m
重量: 380kg(乾燥)
化学燃料: 70kg
キセノン推進剤: 60kg
総重量: 510kg
電力: 2.6キロワット(1天文単位にて)
通信: X band

累積で25600時間探査機を加速し、宇宙動力航行の世界記録を樹立。すべてのエンジンののべ運転時間は約4万時間に達する。

「小惑星探査機『はやぶさ』の挑戦と危機克服」講演資料より

祝賀会

平成24年5月28日(月) 17:10~アルカディア市ヶ谷 阿蘇の間



祝辞 国土交通省技監 佐藤 直良 氏



祝辞 土木学会会長
山本 卓朗 氏



乾杯 建設業技術者センター
理事長
三谷 浩 氏



祝賀会



はやぶさ1/8模型：提供JAXA



司会 事業部長 鈴木 菜穂子

「JCM設立記念」
焼き印入りカステラ

見学会

平成24年5月29日(火) 土木研究所 JAXA筑波宇宙センター



土木研究所見学



土木研究所臨床研究用部材見学



JAXA見学

1. 設立

土木施工管理技士の制度ができたのは、昭和44年の技術検定の始まりに由来します。その後昭和49年に土木技術者の有資格者のための資料を配布する「資料頒布会」が創設されました。

一方昭和51年には全国に先駆け静岡県に「静岡県土木施工管理技士会」が設立されました。この後「資料頒布会」が「土木施工管理技士会」と名称を変え、各県に設立された技士会と共に昭和55年に任意団体の「全国土木施工管理技士会」を設立しました。

そして、当時の全国技士会の中村会長、増岡顧問、建設省の豊田技術審議官等沢山の方々のご努力により、平成4年に晴れて「社団法人全国土木施工管理技士会」の設立に至りました（図1）。

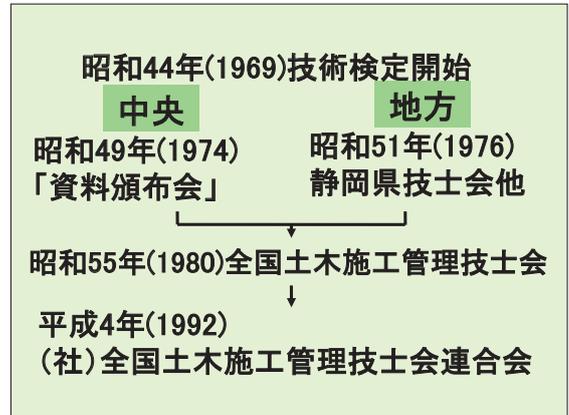


図1 全国技士会の設立

2. 第一期の10年

平成4年に設立され、すぐに当会の機関誌である「JCMマンスリーレポート」という月刊誌を発刊いたしました。また、土木施工管理技術研修用テキストの編集委員会が設置され、「技術図書」を発行し、「通年施工化技術講習会」を皮切りに全国で講習会の開催を開始しました（図2）。

平成6年には事務所を設立当初の「港区東麻布」から交通の便の良い「千代田区九段南」に移し、業務の拡充とともに事務所のスペースを増やし、現在に至っております。



図2 平成6年（1994）事務所移転

平成9年には「土木施工管理技士会倫理要綱」を制定し、技術者としての基本精神として掲げております。また、「技術論文表彰規定」を制定し、全国より技術論文を募集し、技術論文審査委員会を経て表彰を行っております。論文については論文集として発行してはいましたが、現在は同時にホームページでも公開しております。

平成10年には一般の「表彰制度」を制定し、技士会活動に尽力いただいた会員や優秀な会員等に対し表彰を行っています。

今迄のこうした活動によって、平成11年には優良団体として「建設大臣表彰」を受賞しました。

平成12年には現在の当会の主たる事業となる継続学習制度「CPDS」の導入を決定、8月から運用を開始しました。建設部門では国内初となる「CPDS」の導入にあたっては、平成9年より当時の古川専務理事がこの制度の検討に着手し、平成11年度には委員会を設置し調査検討を行い、その結果やっと12年に導入に踏み切ることが出来ました。導入と同時に全国で「CPDS指定技術講習会」を開催しました。この講習会は平成21年に「JCMセミナー」と名称が変更され現在に至っています(図3)。

第一期10年(1992~2002)

- 平成4年(1992)
 - ・JCMマンスリーレポート発刊
 - ・技術図書発行
 - ・各種技術講習会を全国で開催
- 平成7年(1995)
 - ・監理技術者講習の受託開始
 - ・国内政府建設投資のピーク
- 平成9年(1997)
 - ・倫理要綱制定
 - ・技術論文表彰制度制定
 - ・技術論文集発行
- 平成10年(1998)
 - ・表彰制度の制定
- 平成11年(1999)
 - ・建設大臣表彰を受賞
- 平成12年(2000)
 - ・CPDSの運用開始

図3 第一期10年間の活動

3. 第二期の10年

平成16年には「監理技術者講習」の実施機関が登録制となりました。当会も実施機関として登録番号第5号で登録証の交付を受け、全国で「監理技術者講習」の開催を始めました。

平成21年には今迄「CPDS指定技術講習会」として行っていた当会の講習会名称を「JCMセミナー」と変更しました。「JCMセミナー」では現在「DVD講習」や「演習形式の講習会」など時代のニーズに沿った様々な形の講習を実施しています。そして平成22年には「CPDS」を商標登録いたしました(図4)。

第二期10年(2002~2012)

- 平成16年(2004)
 - ・監理技術者講習の実施機関登録
- 平成17年(2005)
 - ・品質確保法の施行
- 平成18年(2006)
 - ・国交省と意見交換会を全国で実施
- 平成21年(2009)
 - ・CPDS加入者が10万人を突破
- 平成23年(2011)
 - ・技士会会員が10万人を突破
 - ・全県技士会が全国技士会に加入
- 平成24年(2012)
 - ・どぼく検定・土木マーケット試行
 - ・一般社団法人へ移行

図4 第二期10年間の活動

4. 今後

当会は公益法人改革により平成24年度一般社団法人の道を選択しましたが、運営については出来るだけ公益法人基準を守るという方針が22年の総会で決議されています。

当会では3年に一度技士会員にアンケートを行っておりますが、その中で技士会員や現場の技士の方が当会の活動として要望するものは、CPDSや発注者との意見交換が多く寄せられています（図5）。こうしたことから今後の主な活動は、主にCPDSが主体となる「現場技術力の向上」と意見交換会などによる「現場の改善」を大きな柱といたしました（図6）。

CPDSではユニットの取得が技術力向上として表示されます。当会としてはユニットの承認に際して書類を確実にチェックして信頼性を確保すると同時に、新しく「どぼく検定」などを開始し学習内容の充実に努めます。（図7）。

施工管理技士の方からはまた、現場での生産性の向上についての要望が多く出されています。そのため当会では、発注者との意見交換会を重視するとともに、「土木マーケット」をホームページ上でオープンし現場で考案された新しい装置などが普及するよう努めます。また、さまざまな建設現場の問題について海外でどのように解決されているかを知る手段として、「海外の情報」が重要と考えております（図8）。

時代に生き残っていくのは進化を遂げた者だけです。当会も時代の流れにしなやかに対応しながら進化しつづける組織でありたいと考えています。

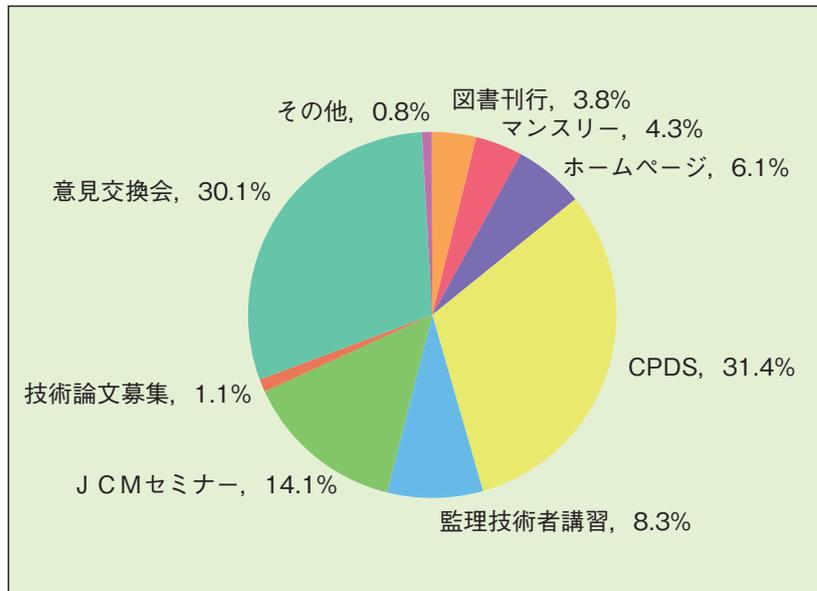


図5 アンケートでの活動要望（2009年）



図6 技士の目的

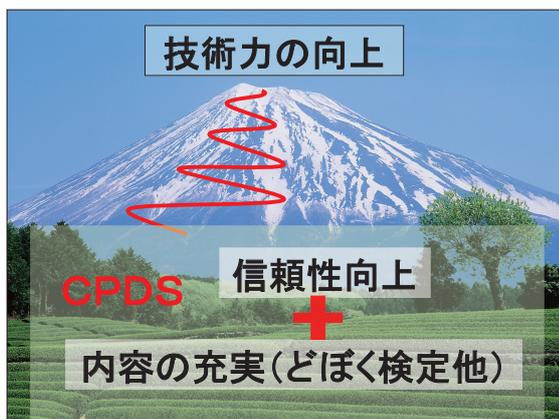


図7 技術力の向上

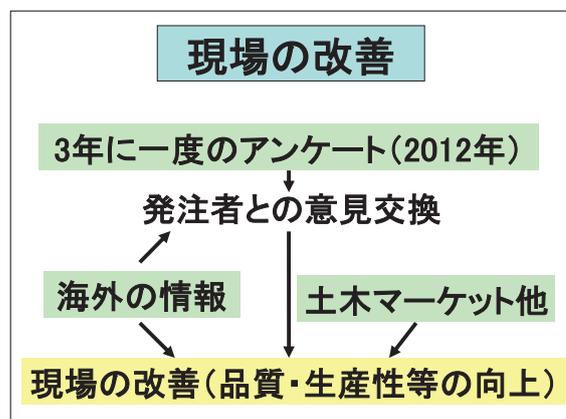
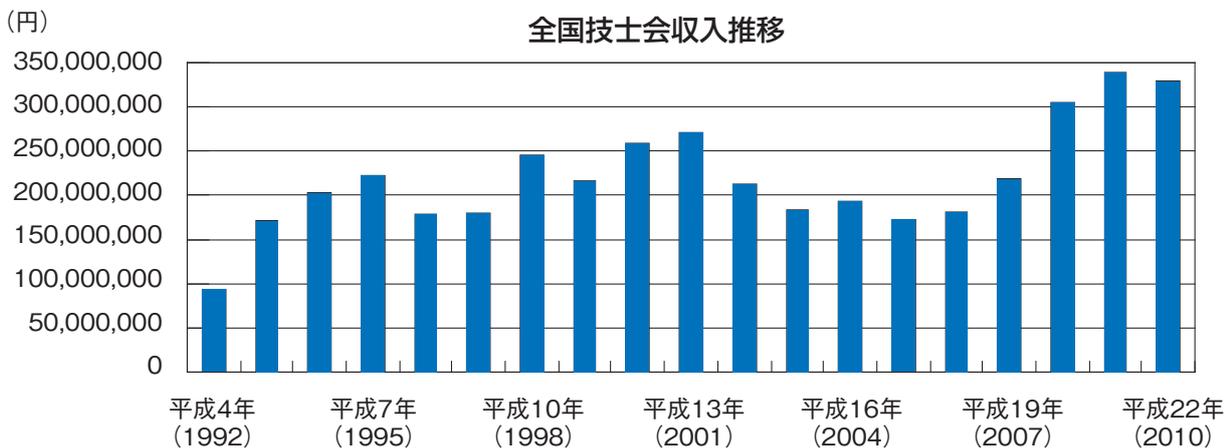
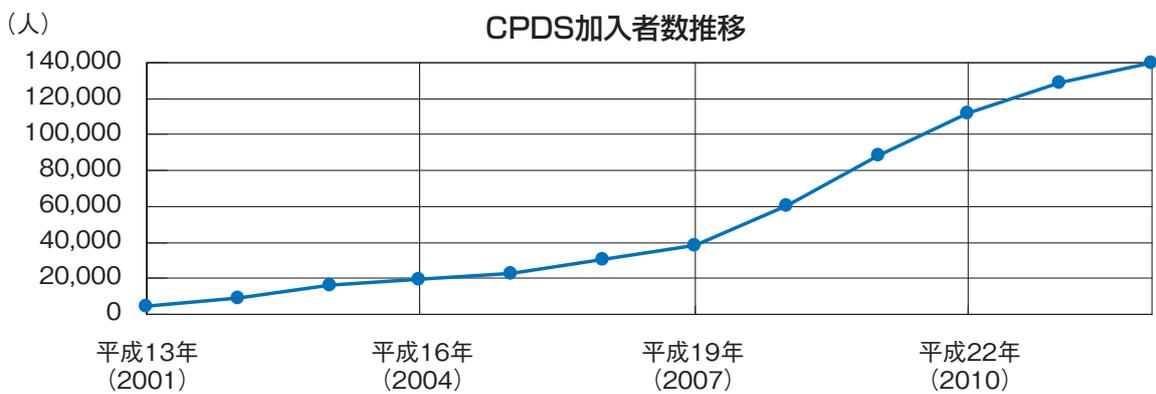
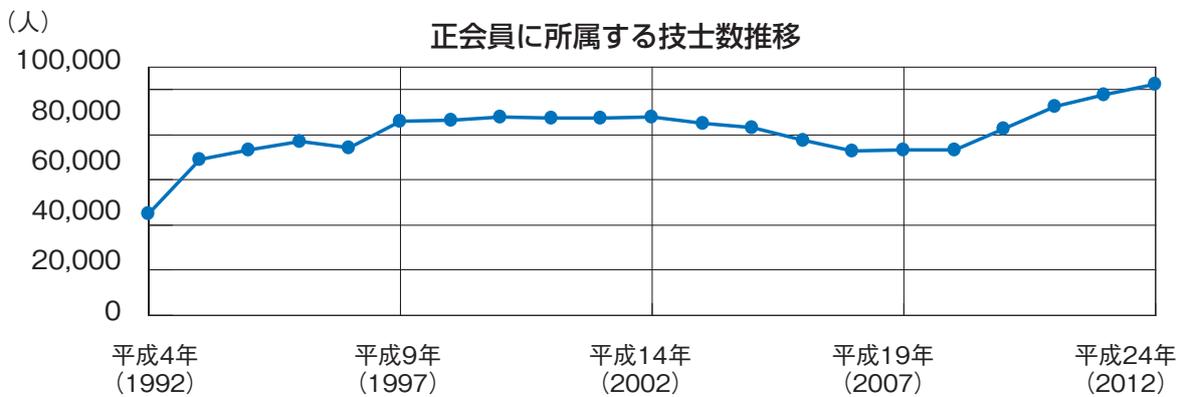
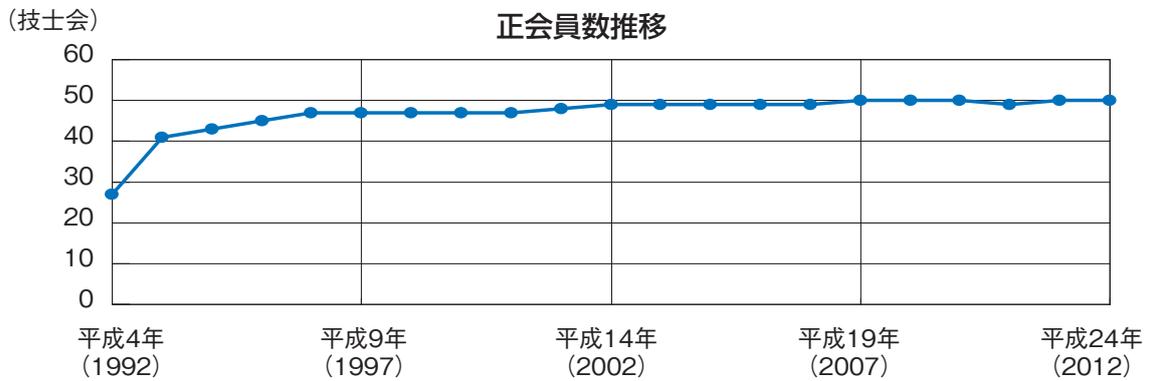


図8 現場の改善



一枚の名刺

元(社)全国土木施工管理技士会連合会 専務理事 古川 恒雄



私が入った平成8年、1996年頃の当連合会の財政は、本当に厳しい状況で、各県の技士会のお陰で、やっと糊口をしのいでいるような団体でした。その打開のため、「工事受注の為の資格証の更新の団体となる」ことを各方面に働きかけていましたが、その実現性は、非常に低いことが明らかになってきていました。「しからば、どうするか」です。当時の寺田参与や高橋事業部長とも、その模索に日夜、頭を痛めていました。そんな時、建築系雑誌の記事が目に残りました。建築士を対象とした「海外の継続教育」についての報告文でした。読んでゆくと、何かピンと来るものがあったのです。日頃から中村進元会長さん（任意団体時）や、増岡初代会長さん、本山副会長さん達から言われていた言葉が、頭の中に残っていたからでした。それは「この会の目的は資格を取ってから勉強すること」。早速、その記事の著者、(財)建築技術教育普及センターの小泉重信さんに会いに行きました。その日、私の質問に小泉所長さんは、的確かつ懇切丁寧にお答えいただきました。欧米諸国の技術者の継続教育そのものは、連合会の設立目的と全く同じと感じました。これからやるべき方向が、霧の晴れるように見えてきました。その時頂いた「一枚の名刺」を、今も私の宝物として大切に保存しています。(写真)

事業開始にはいろいろな困難を予想していました。しかし、連合会には、後で述べるようなツキが有りました。当時、「継続教育」という用語を知っている人はごく稀で、国内にはこの制度は皆無でした。CPD、継続教育は「生涯教育」とも訳され、年寄りの暇つぶしと思っている人もいました。私は先ず、海外の継続教育をインターネットで調べ、技士会で見習うと良い所を探しました。調べれば調べるほど、技士会のためにあるような制度であると確信が沸きました。それからは、一気呵成です。確認のための海外現地調査もやりました。当連合会で始めたいCPDSの素案を、何とか作り上げました。そして一番大きなツキは、用語の「継続教育」が知れ渡る時代が、突然来たのです。当時、アジア太平洋経済協力会議（APEC）は世の大きな関心事で、自由化に向けて、技術者「相互認証」の要素の一つである「継続教育」の議論が、あちこちで始まりました。まさにAPEC国際会議は大きな追い風でした。次に、この制度を早く全国的に広めるには、ITを利用するしかないと考えていました。何処からでも、容易にアクセスできるシステムは、インターネットの利用が最適です。これも連合会が、たまたま別の事業で着手したばかりであった、と言うツキがありました。現場事故データについて、全国から集める業務を、建設省から請け負ったばかりでした。大量のデータを処理するため、MySQLという高速性に特徴のある、無料のソフトを活用していました。連合会の理事会も総会も、このCPDS新事業に対し、直ちに了解を得ることが出来ました。今でも、CPDSを始めた、2000年の各県の技士会のご決断・ご協力には、深く感謝しているところです。その後、色々な方々のご努力、ご支援により、今や参加者14万人、活用している発注者は全ての地方整備局と44の道府県にも上り、全国に揺るぎない地保を確立していることは、大変喜ばしいことです。



都道府県等技士会



中国、四国ブロック



九州、沖縄ブロック

北陸

| 新潟 | 富山 | 石川 |

近畿

| 福井 | 滋賀 | 京都 |
| 大阪 | 兵庫 | 奈良 |
| 和歌山 |

中国

| 鳥取 | 島根 | 岡山 |
| 広島 | 山口 |

九州

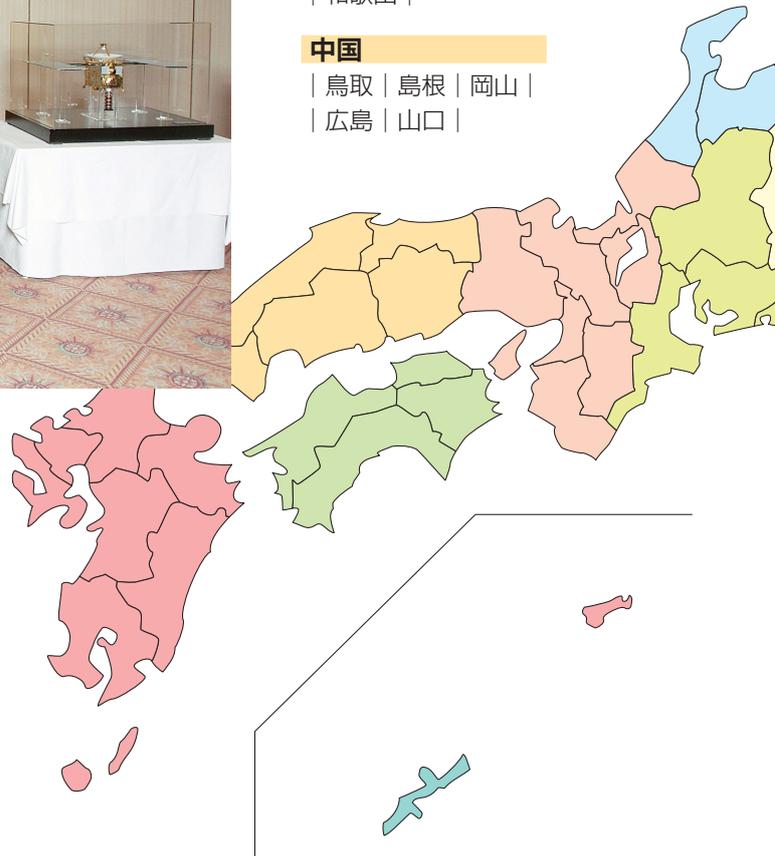
| 福岡 | 佐賀 | 長崎 |
| 熊本 | 大分 | 宮崎 |
| 鹿児島 |

四国

| 徳島 | 香川 |
| 愛媛 | 高知 |

沖縄

| 沖縄 |



北海道

| 北海道 |



北海道、東北ブロック 専門技士会



関東、北陸ブロック



東海、近畿ブロック

東北

| 青森 | 岩手 | 宮城 |
| 秋田 | 山形 | 福島 |

関東

茨城	栃木	群馬
埼玉	千葉	東京
神奈川	山梨	
長野		

東海

| 岐阜 | 静岡 | 愛知 |
| 三重 |

専門

| 橋梁 | 塗装 | 現場 |

都道府県等技士会一覧

(一社) 北海道土木施工管理技士会
 青森県土木施工管理技士会
 岩手県土木施工管理技士会
 宮城県土木施工管理技士会
 秋田県土木施工管理技士会
 山形県土木施工管理技士会
 福島県土木施工管理技士会
 茨城県土木施工管理技士会
 栃木県土木施工管理技士会
 群馬県土木施工管理技士会
 埼玉県土木施工管理技士会
 千葉県土木施工管理技士会
 東京土木施工管理技士会
 神奈川県土木施工管理技士会
 新潟県土木施工管理技士会
 富山県土木施工管理技士会
 石川県土木施工管理技士会
 福井県土木施工管理技士会
 山梨県土木施工管理技士会
 長野県土木施工管理技士会
 岐阜県土木施工管理技士会
 (一社) 静岡県土木施工管理技士会
 愛知県土木施工管理技士会
 三重県土木施工管理技士会
 (社) 滋賀県土木施工管理技士会

京都府土木施工管理技士会
 大阪府土木施工管理技士会
 兵庫県土木施工管理技士会
 奈良県土木施工管理技士会
 和歌山県土木施工管理技士会
 (社) 鳥取県土木施工管理技士会
 島根県土木施工管理技士会
 岡山県土木施工管理技士会
 広島県土木施工管理技士会
 山口県土木施工管理技士会
 徳島県土木施工管理技士会
 香川県土木施工管理技士会
 愛媛県土木施工管理技士会
 (社) 高知県土木施工管理技士会
 福岡県土木施工管理技士会
 佐賀県土木施工管理技士会
 長崎県土木施工管理技士会
 熊本県土木施工管理技士会
 大分県土木施工管理技士会
 宮崎県土木施工管理技士会
 鹿児島県土木施工管理技士会
 沖縄県土木施工管理技士会
 日本橋梁建設土木施工管理技士会
 日本塗装土木施工管理技士会
 (一社) 現場技術土木施工管理技士会



会長 熊谷 勝弘 事務局長 大千里 祥一

〒001-0011 札幌市北区北11条西2丁目2番17号 セントラル札幌北ビル6階

TEL 011-709-5711 FAX 011-709-5721

URL <http://www.hogis.com/>

当技士会は、昭和53年に北海道土木技士会として発足、平成2年から社団法人として活動し、平成24年4月1日一般社団法人北海道土木施工管理技士会として、新しい一步を踏み出しました。

北海道の地域住民の皆さんが安定した生活の確保と社会資本基盤整備を構築するため、優れた技術力を有する技術者の確保、土木施工管理技士の施工技術の維持・向上と社会的地位の確立のため、各種講習会事業等を実施しております。

更には、CPDSの普及、常に新しい技術の習得に努め安全・安心確保に向けての活動を展開しております。

1. 講習会事業

各種専門講習会を開催し、土木施工管理技士の技術力の維持・向上のため、各種専門講習会を開催し、会員を始めとし道内におられる施工管理技士の皆様に寄与しております。

2. 行政側との意見交換

国土交通省北海道開発局と、毎年、技術力向上等について発注者と施工者が良質な公共構造物の構築に向けての意見交換を行っております。

3. 技士会の情報提供

年2回（1月、7月）「会報」を発行し、6,500名余の会員並びに関係機関等に配布を行うとともに、ホームページで技士会の活動等を紹介を行っている。

4. 表彰事業

国発注工事の施工において優良と認められた工事に従事した、主任技術者又は監理技術者に対して、毎年表彰を行っている。



総会



講習会



活動状況 青森県土木施工管理技士会

会長 中村 幸正 事務局長 竹内 春繁
〒030-0803 青森県青森市安方二丁目9番13号 建設会館3階
TEL 017-722-7611 FAX 017-722-7617

本会は会員相互の協力によって、土木施工管理技士の品位と社会的地位の向上をはかるとともに、建設工事を適正に施工するために必要な専門的知識およびその能力の習得に努め、もって会員の利益と公共の福祉に寄与することを目的として活動しております。

【設立】

昭和57年9月20日

【組織】

役員 会長1名、副会長2名、理事13名、監事2名、代議員33名
支部 8支部（青森県建設業協会各支部内）

【実施事業】

全国技士会主催の監理技術者講習を開始当初から実施。講師を県内より招集し、地元の問題を踏まえた講義をいただいている。

通年事業としてJCMセミナーを自主開催。

技術論文報告集を会員事業所へ配付。最近の技術動向の周知を図るとともに安全管理や施工計画の参考としている。

【支部への支援】

支部が行う講習事業を支援。地域差の無いCPDSユニットの取得を目指す。



事務所内全景



代議員会

会長 宇部 貞宏 事務局長 山本 博
〒020-0873 岩手県盛岡市松尾町17-9
TEL 019-653-6111 FAX 019-653-6113

当技士会は、土木施工管理技士の資質の向上を図り、並びに建設工事の施工に必要な専門の知識、技術及び能力を高め、もって優良な社会資本の整備充実に寄与することを目的とし、技術発表会、技術者顕彰及び研修会開催の事業活動を行っています。

活動の内容は以下のとおりです。

1. 顕（表）彰

建設従事者の誇りと意欲を増進し、技術と資質の向上を図る等の目的で、建設産業構造改善週間の行事の一環として実施する優良県営建設工事担当技術者会長顕彰式で技術者を業界版建設マスターとして、毎年15名程顕（表）彰している。

2. 品質管理監査の立会

(1) コンクリート製品工場

県コンクリート製品協会では、主として公共事業に使用されるコンクリート製品の品質向上と供給の安定化を目的に製品工場認定制度を設けて、協会の工場の立会い監査を実施しており、本技士会の会員も協会から依頼を受けて6工場に立会いをしている。

(2) 生コンクリート工場

県生コンクリート工業組合では、工場生産に係る生コンクリートをより一層品質の確保を図るため、全国統一品質管理監査会議の方針に基づき、組合員工場の立会い監査を実施しており、本技士会の会員も組合から依頼を受けて15工場に立会いをしている。

3. 土木工事現場技術発表会

建設技術者のより一層の技術向上に資するため、前年度に優良県営建設工事施工業者表彰を受賞した土木工事の担当技術者による施工上の体験

発表会を開催、例年10名程が発表している。

4. 土木施工技術者試験（高校生）受験準備講習会

土木施工技術者試験は、土木工学等を履修している高等学校等生徒を対象に、この試験の合格率を高め、目的意識を持った人材の建設業への入職を促進するため、県立工業高校土木科系、農林科、海洋開発科の生徒を対象に学校ごとに受験準備講習会を開催している。

5. 研修・講習

(1) 総合評価落札方式への対応研修

価格だけでなく、品質も含めた総合的に優れた内容の契約を行うことを求めて、受注者に対し、全競争参加業者に「技術力審査」を義務付けたことから、これらの方式に対応するために研修会を開催している。

(2) 技術（検定・資格）試験受験準備講習

1、2級土木施工管理技術検定試験、1、2級舗装施工管理技術者試験受験準備講習会を例年開催している。



総合評価落札方式への対応研修

会長 佐藤 博俊 事務局長 伊藤 博英

〒980-0824 宮城県仙台市青葉区支倉町2-48 宮城県建設産業会館6F

TEL 022-262-2211 FAX 022-263-7059

当技士会は、土木施工管理技士の社会的地位と品位並びに施工技術の確保向上に努め、社会資本の整備充実に寄与することを目的とし、会員の社会的地位の向上、施工技術の維持及び向上、土木施工管理に関する情報・資料の提供、その他本会の目的を達成するための事業を行っております。

主な活動内容は以下のとおりであります。

○表彰

(1) 宮城県土木施工管理技士会長表彰

毎年県工事において、実際に現場を担当し功績のあった技術者に対する表彰を行っている。平成23年度の受賞者は81名。

(2) 土木技術奨励賞

平成12年度より毎年「土木の日記念事業」として実施する若手技術者に対する表彰制度で、応募資格を40歳未満の若手技術者等を対象として、「論文の部」及び「施工の部」でそれぞれ募集を行い、記念講習、表彰式、論文発表会及び受賞者意見交換会を開催している。

○現場見学会・意見交換会

毎年会員技士を対象として現場見学会及び見学会参加技士等による意見交換会を行い、平成23年度は東日本大震災の影響により実施できなかったが、平成22年度は①岩手・宮城内陸地震で被災した現場、②県発注工事のダム本体工事現場、③情報化施工導入に向けたTS、GPSによる締固め管理技術等の視察を行なっている。

○CPDS対象講習会

技術力向上などに積極的に取り組む会員技士のCPDSユニット取得の機会を数多く提供するため、会員技士のニーズ・要望に応えられるよう講習会等の企画を行い、毎月1回以上のペースで実施しユニットの付与に努めている。

CPDS対象講習会実施状況（過去5年）共催等含む

年度	実施回数	参加人数	ユニット数
H19	22	1,533	84
H20	43	2,095	183
H21	38	2,560	155
H22	37	2,825	141
H23	28	2,014	115



土木技術奨励賞表彰式



現場見学会(砂防災害関連工事)



現場見学会(ダム工事)



現場見学会(トンネル工事)



現場見学会(情報化施工技術)



CPDS対象講習会

会長 北林 一成 専務理事 荒川 英俊
〒010-0951 秋田県秋田市山王4丁目3番10号
TEL 018-823-5495 FAX 018-865-2306

本会は、平成4年7月に設立し、県内土木施工管理技士の資質の向上を図り建設工事の施工に必要な専門の知識、技術力及び能力を高め、優れた社会資本の整備充実に寄与することを目的に活動しております。

1. 表彰

秋田県の優良工事表彰を受けた工事において現場代理人等として従事した技術者を平成8年度より毎年表彰しております。

2. 行政側との意見交換会

本会運営委員と秋田県建設交通部との意見交換会を実施し「現場・施工に関する諸問題」「総合評価方式の制度改正」「技術管理業務」について意見交換を行っております。

3. 講習会

技術力の向上を目的とした各種講習・研修会を開催しております。

- ・平成21年度 15テーマ（CPDS81ユニット）
参加者1,390名
- ・平成22年度 18テーマ（CPDS83ユニット）
参加者1,660名
- ・平成23年度 13テーマ（CPDS69ユニット）
参加者1,106名

また、平成21年度より秋田県との共催により、「新技術・新工法説明会」を年2回開催し、聴講のみならず、発表者としての参加を勧奨しております。

4. 講師の派遣

他団体からの要請を受け、会員技術者を講師として派遣しております。

- ・秋田県建設交通部専門研修
- ・（社）秋田県建設技術センター現場監督研修



情報化施工 体験研修会



秋田県土木施工管理技士会表彰

会 長 澁谷 忠昌 事務局長 宮部 保夫
〒990-0024 山形県山形市あさひ町18-25 山形県建設会館 3階
TEL 023-641-0328 FAX 023-624-7391

当技士会は、土木施工管理技士の社会的地位と施工技術の向上を目指し、建設工事を的確に施工するための必要な専門知識及びその能力の習得に努め、もって社会資本の整備充実に寄与することを目的として講習会等の開催に重点を置いて活動しています。活動内容は以下のとおりです。

1. 講習会

(1) 技士会が主催する講習会

①建設VE講習会（CPDS認定講習会）

「新しいVE術」を習得し発注者の要求に合致した提案を出すことにより受注拡大へ導く講習会

②2級土木施工管理技術検定試験受験準備講習会 土木工事に従事する技術者の施工技術の向上と2級土木施工管理技術検定試験に備えた講習会

③土木工事積算実務講習会（以下は全てCPDS認定講習会）

公共土木工事の積算についての仕組と手法を体系的に解説し積算技術習得と実務者のレベルアップを図る

(2) 関係団体と共催による講習会

①電子納品セミナー

ASPによる受発注間の情報共有方法、新旧基準の相違点、ガイドライン適用の注意点等についての解説を行う（県内4会場で開催）

②情報化施工（TSによる出来形管理技術）に関する研修会

「情報化施工推進戦略」に基づき、現場ジオラマを用いてのTSによる実測の実演等で、技術力の向上と更なる情報化施工の普及促進を図る

③情報化施工現地研修会

実際に施工されている情報化施工現場での研修会を開催し、情報化施工技術の紹介、機械見学等実体験により普及拡大を図る

④山形県工事評点对策講習会

施工計画や工事評点を中心とする技術点を加味した新しい状況に対応できるよう、受注を増やしている事例の紹介等工事評点アップのための実習形式講習会



VE講習会



情報化施工現地研修会

会長 佐久間 政文 事務局長 安村 敏之

〒960-8061 福島県福島市五月町4-25 福島県建設センター3階

TEL 024-521-0244 FAX 024-522-4513

当技士会は、福島県内各地の土木施工管理技士会をもって組織し、土木施工管理技士の技術力及び社会的地位の向上を図ることにより、良質な社会資本の整備に貢献し、もって公共の福祉向上に寄与することを目的に活動しております。

活動の内容は以下のとおりです。

1 表彰

(1) 技士会連合会会長表彰

毎年、技士会連合会表彰規程に基づき、正会員の役員や永年にわたり役員、委員会の委員または職員として尽力し、その功績が顕著な者を表彰している。

なお、平成23年度受賞者は4人。

(2) 福島県土木施工管理技士会会長表彰

当技士会表彰規程に定める表彰基準（国・県等の公的機関並びに各種団体等から表彰を受けた者）に該当する会員を表彰している。

なお、平成23年度は17人。

2 行政側と意見交換会

必要に応じて、土木施工管理技士会と各行政庁及び関係団体との意見交換会を適宜実施している。

なお、平成23年度は「東日本大震災」の影響で実施を見送った。

3 講演会

震災の影響を受け、東北6県の技士会が結集して、東北土木施工管理技士会連合会として、平成23年度は7月と3月に「がんばろう！東北 東日本大震災の教訓を生かそう 東北からのメッセージ」と題した講演会を2回開催し、東北各県技士会でこの運営に協力した。

4 講習会

(1) 当技士会が主催する講習会

電子納品、施工計画作成、総合評価への対応、積算応力向上など、県内各会場でCPDS講習会を実施している。

平成23年度は、CPDS講習会を13回開催し、受講者数は延べ203人であった。

(2) 国・県及び各種関係団体が主催する講習会

国・県及び各種関係団体が主催する講習会・演習会等に協力し、会員に周知を図るとともに積極的に参加を勧奨している。

(3) 監理技術者講習会

財団法人全国建設研修センター、財団法人建設業振興基金が主催する「監理技術者講習会」を開催会場を提供している。



事務所内全景



CPDS講習会風景



活動状況 茨城県土木施工管理技士会

会長 岡部 英男 事務局長 田山 寛治

〒310-0062 茨城県水戸市大町3-1-22 (社) 茨城県建設業協会内

TEL: 029-221-5126 FAX: 029-225-1158 URL: <http://www.ibaken.or.jp>

当技士会は土木施工管理技士の品位と社会的地位の向上を図るとともに、建設工事を適正に施工するために必要な専門的知識及びその能力の習得に努め、もって会員の利益と公共の福祉に寄与することを目的とし、活動しております。

6. 土木施工管理技士に関する制度の普及及び協力
7. 土木施工管理技士に関する情報の収集及び提供
8. 会誌「JCMマンスリーレポート」の配布
9. 土木施工管理技士に関する図書の頒布

■設立

昭和61年11月29日

■主な事業

1. 継続学習制度 (CPDS) の推進
2. 監理技術者講習制度の推進
3. 土木施工管理技士を対象とする研修及び講習会の実施
4. 土木施工管理技士の社会的地位の向上
5. 土木施工管理技士の業務の進歩及び改善に関する調査研究

■会員資格

茨城県内に住所または事業所に勤務する1級及び2級土木施工管理技士

■年会費

3,000円 (1名)

■会員数

765名 (平成24年3月31日現在)



事務所内全景

会長 渡邊 勇雄 専務理事 河野 廣實 常務理事 増子 四郎
〒320-0933 栃木県宇都宮市築瀬町1958-1
TEL 代表 028-639-2611 FAX 028-639-2985

当技士会は、若年層の入職率の低下や少子高齢化に伴う技術の伝承等の課題が山積しているなかで、会員の技術力並びに社会的地位の向上を目指し、講習会等を中心に積極的に活動している。活動の内容は以下のとおりです。

1 表彰

(1) 技士会連合会会長表彰

技士会連合会表彰規程に基づき、永年に亘って功績があった役員及び会員等を推選し、顕彰を行っている。

(2) 栃木県土木施工管理技士会会長表彰

毎年、国土建設週間にあたり、知事表彰等の優良工事に従事した会員を表彰している。

2 行政側との意見交換

国・県等と通年を通して意見交換会を実施し、専門知識や最新の施工技術等の研鑽に努めている。

特に、国の出先機関とは現場の諸問題等について意見交換を実施し、会員の技術力の向上を図っている。

3 講演会

毎年、“土木の日”に構成員として参画し、講演会を企画運営している。平成23年度は、県土整備部長の講和を実施した。

4 講習会

(1) 技士会が主催する講習会

積算実務や実行予算作成実務講習会等の定例的な各種講習会に加えて、安全衛生等に係る講習会などを実施している。

特に、会員のCPDS登録については積極的に推奨している。

(2) 国・県及び関係団体が主催する講習会

国・県及び関係団体が主催する講習会や講演会に共催する等、会員の知識や資質の向上に寄与している。

(3) 監理技術者講習会

全国土木施工管理技士会連合会が主催する「監理技術者講習会」に支援・協力するとともに、会員の受講を積極的に促し、技術力の向上を図っている。



事務所内全景



講習会

会長 野口 和明 事務局長 小谷野 修 担当 藤塚 永治 fujitsuka@gun-ken.or.jp
〒371-0846 群馬県前橋市元総社町2-5-3 小淵 亮 r-obuchi@gun.ken.or.jp
TEL 027-252-1666 FAX 027-252-1993

当技士会は、会員相互の協力によって、土木施工管理技士の品位と、社会的地位の向上を目指し、工事の安全・品質及び効率の向上を図る事により、良質な社会資本整備に貢献することを目的とし、講習会等の開催に重点を置いて、活動しております。

活動内容は以下の通りです。

1 表彰

毎年、技士会連合会表彰規程に基づく役員表彰、職員表彰、優良工事従事技術者に該当する会員を表彰している。なお、平成22年度受賞者は3人。

2 意見交換会

必要に応じて、技術者が常日頃感じている問題点の解決及びスムーズな施工が出来る事を目標に、群馬県との意見交換会を実施しております。

平成22年度は、技士会会員を対象に行ったアンケート調査から議題を選出し、技士会各支部ごとに、所管土木事務所の担当官及び監督員との意見交換会を実施した。(県内12支部中8支部で実施)



アンケート結果・意見交換会資料

3 講習会・研修会・技術発表会

(1) 技士会が主催する講習会

平成23年度は、CPDS認定「工事評点对策研修会」と題し、工事評点の詳細な分析、考査項目の理解と得点对策、高得点獲得のためのコンクリート施工管理について、5時間に亘る研修会を実施し、約200名が受講した。

(2) (一財)建設物価調査会等関係団体との共催による講習会

(一財)建設物価調査会と群馬県建設業協会との共催で、CPDS認定「実行予算作成実務講習会」を実施し、当日は約60名が受講した。

(3) 施工技術発表会 (CPDS認定)

群馬県建設業協会との共催で、会員企業の持つ優れた施工能力や、建設現場における様々な取り組み事例を紹介し、会員相互の技術力向上を図り、より安全で豊かな郷土の発展に寄与するため、施工技術発表会を実施した。当発表会は、平成21年度から開催しており、平成23年度は県内建設系高校の生徒80名も参加し、総勢440名以上が聴講した。



工事評点对策研修会 全景

会長 松本 泰典

〒350-0826 埼玉県川越市上寺山176-1

TEL 049-229-5622 FAX 049-229-5633

E-mail saitamagisikai@oasis.ocn.ne.jp

はじめに

連合会設立20周年、おめでとうございます。

埼玉県技士会は、昭和62年1月23日、全国18番目の技士会として発足いたしました。(組織体制は、本部事務局と県土整備事務所ごとに12支部を設置) 本会は、「会員の社会的地位、建設工事の適正な実施に必要な専門の知識、能力の向上に努め、以て会員の利益と公共の福祉に寄与すること」を目的とし、①施工管理技術に関する情報の収集・提供、②施工管理技術に関する研修及び講習、③発注機関との技術研修や意見交換、④発注機関、関係団体との連絡協調などを主要事業とし実施しています。

以下に、平成23年度の主な活動内容をご紹介します。

1. 発注機関との意見交換会

本部では、入札契約制度や現場管理上の課題等についてのアンケート調査をもとに、発注機関との意見交換を実施している。

7月に大宮・北首都国道事務所と実施し(発注者側17名、技士会側41名)、24年1月には、埼玉県と実施した。(県側6名、技士会側21名)

2. 講習会



発注機関との意見交換会

本部では、毎年11月に「土木の日記念事業」として講演会を開催している(23.11.17開催参加者234名)。また、支部では、支部毎に適時、県土整備事務所との技術講習会を開催している。それ以外にも、埼玉県建設業協会などが主催する技術発表会、講習会等に技士会の立場で協力し、会員にも周知し積極的に参加させている。

3. 現場見学会

本部、支部では、適時、県内、県外現場見学会を実施している。本部では、今年度、東北中央自動車道「栗子トンネル工事現場」を視察した。(23.9.8実施 参加者63名)



現場見学会

4. 表彰

毎年、連合会表彰規定に基づく各表彰に該当する会員を推薦している。(平成23年度受賞者は、4名) また、通常総会時には、当技士会表彰規定に基づき、該当する会員を表彰している。(平成23年度受賞者は、5名)

おわりに

発注機関をはじめ関係諸団体との連携強化を深め、会員のニーズにあった活動の充実を図っていく所存である。

会長 宮村 良典 専務理事 蓑輪 昇 事務局 荒井 将則
〒260-0024 千葉県千葉市中央区中央港1-13-1
千葉県建設業センター5階（一般社団法人千葉県建設業協会内）
TEL 043-246-7624 FAX 043-246-9855
URL <http://chikenkyo.or.jp/dobokugishikai.htm>

当技士会は、優れた土木工事の施工技術を普及して建設工事の適正な施工を確保すると共に、土木施工管理技士の資格及び社会的地位の向上を図り、もって会員の利益と公共の福祉に寄与することを目的とし、CPDS認定講習会等の開催に重点を置いて活動しております。

活動内容は、以下のとおりです。

1. 表彰

毎年、社団法人全国土木施工管理技士会連合会会長表彰受賞者に対し、通常総会終了後に表彰式を開催し、記念品を添えて表彰している。なお、平成23年度受賞者は、役員2名、優良工事従事技術者2名。

2. 講習会・研修会等（CPDS認定プログラム）

（1）技士会主催で実施する講習会

土木施工管理技士の1級資格取得支援を目的として、「1級土木施工管理技術検定実地試験対策講習会」を2日間にわたり実施している。23年度は、約50名が受講した。

また、財団法人建設物価調査会の協力を得て、土木工事積算書を合理的かつ能率的に作成できる

土木工事積算実務者を育成することを目的として、「土木工事積算実務講習会基礎編及び応用編」を1回ずつ実施し、土木工事の実践的な施工計画と適正な実行予算の組み方を、現場管理の合理化促進に結びつくよう演習を通じて、その手法の修得を図ることを目的として「土木工事实行予算作成実務講習会」を実施している。23年度は、3講習会で延べ約100名が受講した。

（2）技士会支部主催で実施する講習会

技士会支部がそれぞれの会員を対象として、講習会を実施している。平成23年度は、実施した11支部で延べ約400名が受講した。

（3）建設業協会との共催で実施する講習会

土木施工管理技術検定学科試験に向けて「土木施工管理技術講習会」を2日間にわたり実施している。23年度は、約70名が受講した。また、23年度は、支部（14支部）ごとに「工事評点对策（午前）、適正積算作成セミナー（午後）」を実施し、延べ約300名が受講した。

（4）JCMセミナー

社団法人全国土木施工管理技士会連合会との共催により、千葉会場として実施している。23年度は、約60名が受講した。



千葉県建設業センター



講習会

(設立平成8年5月) 会長 水島 久尾 常務理事 糸川 哲雄

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-5-1

TEL 03-3552-5800 FAX 03-3552-5832 URL <http://www.to-gisi.com/>

当技士会は、会員の技術力を高め、建設工事の適正な施工を確保するため、実践的で優れた土木施工技術を普及せしめ、土木施工管理技士の資質及び社会的地位の向上を図り、もって会員の利益と公共の福祉に寄与することを目的として、下記のような事業を行っている。

1. 講習会

大手ゼネコンの部長クラスの方々に講師を迎えての講習や東京建設業協会等との共催によりコンサルタント等の専門家を講師として、平成23年度については15のテーマで開催している。(受講者約1200名)

2. 見学会

(1) 土木現場見学会

会員企業の協力により東京周辺の現場で、技術的難易度の高い現場、あるいは大規模現場等、最も見学に値する現場を選定し、実施している。

平成23年度2回実施(参加者約60名)

(2) 異業種他分野施設見学会

異業種の現場や施設を見ることも勉強になることから、平成19年度から実施している。平成23年度2回実施(参加者約180名)



現場見学会 風景

(3) 一般向け見学会

一般の方々に土木現場や土木施設を見学してもらい、土木の重要性を理解してもらうために、平成23年度から実施している。平成23年度2回実施(参加者約60名)

3. まちづくり展開催

建設業の技術と役割を理解していただくとともに、建設業のイメージアップを図るため、開始されている同展の趣旨に賛同し、平成18年の第2回から共催している。

昨年は、9月26日から28日にかけて新宿駅西口広場イベントコーナーで、会員、官公庁などから約260点の展示物を得て、来場者12,000名余という盛況のもと開催した。

4. 会報誌発行

会報誌「DOBOKU技士会東京」を平成8年8月に創刊し、土木技術、土木遺産あるいは現場訪問、若年技術者への先輩からのメッセージなどさまざまな観点から情報提供に努めて、現在までに51号を発行している。A4版36P年3回発行

5. 表彰

(1) 優良技術者表彰

当会表彰規程により、会員から推薦のあった技術者を選考のうえ表彰している。平成23年度受賞者数127名

(2) 技士会連合会会長表彰

毎年技士会連合会表彰規程4条2項に基づく優良工事従事者に該当する技術者を優良技術者表彰候補者から選出し連合会より表彰を受けている。平成23年度受賞者数3名

会長 三木 崇雄

〒231-0011 神奈川県横浜市中区太田町2-22 (神奈川県建設会館3階)

TEL 045-201-8453 FAX 045-201-2767

神奈川県における土木技術者の品位と社会的地位の向上を図るとともに、組織的な技術の研鑽研修を行い、施工管理技術力の確保に努め、もって公共の福祉に寄与することを目的として「神奈川県土木施工管理技士会」を平成6年7月に設立しました。当技士会では、会員における建設工事の施工に必要な専門知識の習得や、技術力の向上及び発注者との意見交換等に重点を置いて活動しています。

1. 会議

毎年、以下の会議を開催し、当会における事業執行状況や事業計画等の報告、又意見交換会への議題や今後の事業方針等について検討している。

(1) 総会 (2) 理事会 (3) 運営委員会

2. 行政との意見交換会

毎年、土木工事における技術者の円滑な施工を目指すため、県内各地域に出向き会員とのヒアリングを行い、意見や要望等を取纏めて、神奈川県県土整備局等と現場における施工上の課題や入札方式等について意見交換会を開催している。

近年、神奈川県発注の総合評価入札方式にCPDSを評価項目として採用するよう強く働きかけを行っている。



神奈川県との意見交換会

3. 現場見学会

毎年、会員企業の技術者の技術の向上を目的として、先端技術により施工される県内の大規模工

事現場を対象に年1回開催している。平成23年度は「横浜環状北線シールドトンネル工事現場」で行い、21名(参加企業数16社)の参加があった。



現場見学会の風景

4. 講習会等

(1) 神奈川県県土整備局発注工事技術管理説明会

毎年、神奈川県県土整備局の協力を得て、県内企業における適正な工事施工を図ることを目的とした説明会を開催しており、平成23年度は県下8箇所で開催し、会員など339名の参加があった。

(2) 県土整備局請負工事成績評定等に係る研修会

平成23年度の工事成績評定基準の改訂に伴い、8会場で開催し、会員など108名の参加があった。

5. 表彰

(1) 技士会連合会会長表彰

毎年、技士会連合会表彰規程に基づき、土木関連工事で神奈川県知事表彰を受賞した会員企業の主任又は監理技術者を表彰している。

(2) 神奈川県土木施工管理技士会表彰

神奈川県優良工事表彰を受賞した会員企業について、主任技術者若しくは監理技術者を表彰し、又は企業を顕彰している。

なお、平成23年度は表彰技術者8人、顕彰企業4社。

6. その他

(1) 土木技術者に係る各種試験案内や情報の提供を適時行っている。

会長 依田 一志 副会長 立川 正文 副会長 梶原 住夫
 事務局長 羽中田 和文 担当 水上 智博
 〒400-0031 山梨県甲府市丸の内1丁目14-19
 TEL 055-235-4421 FAX 055-233-9572
 URL <http://www.y-kenkyo.or.jp/gishikai/>

当技士会は優れた土木工事の施工技術を普及して建設工事の適正な施工を確保すると共に、土木施工管理技士の資質及び社会的地位の向上を図り、もって会員の利益と公共の福祉に寄与することを目的に平成6年6月に設立いたしました。

現在の会員数は、正会員1,344名、賛助会員263社となっており、技術力の向上を図るため、講習会等の開催に重点を置いて活動しております。活動の内容は以下のとおりです。

1 表彰

技士会連合会会長表彰

毎年、技士会連合会表彰規程に基づく会長表彰、監事・理事表彰、優良工事従事者に該当する会員を表彰している。なお、平成23年度受賞者は4人。

2 講習会

技術力維持向上を目的に、毎年、資格取得、施工技術、施工管理、積算、見積もり業務等に関する講習会を開催している。

<平成23年度実施状況>

- ・1級土木施工管理技術検定（学科）受験準備講習会 受講者38名
- ・1級土木施工管理技術検定（実地）受験準備講習会 受講者18名



技術講習会

- ・2級土木施工管理技術検定（学科）受験準備講習会 受講者31名
- ・コンクリート施工技術研修会 受講者224名
- ・山梨県工事成績評点対策講習会 受講者241名
- ・土木工事実行予算作成実務講習会 受講者68名
- ・電子納品のためのセミナー 受講者71名

3 現場研修会

毎年、県内外の大型プロジェクト工事を見学し、情報収集することにより、当技士会に所属する技術者の技術力向上を図り、見聞を広めると同時に会員相互の技術情報交換の場としている。

<平成23年度見学先>

「品川車両基地整備他」建設現場
 発注：東日本旅客鉄道（株）

4 監理技術者講習会

技士会連合会が主催する監理技術者講習会の運営等を支援、協力している。

平成23年度は4回開催し、受講者数は延べ136名

5 その他

- ・土木施工管理技術等に関する各種専門図書を整備して会員に対し無料貸出ししている。
- ・年間を通して現場からの意見、要望を収集して発注者との意見交換会等に活用している。



現場研修会

会長 牛越 恵司 事務局長 今井 長郎

〒380-0824 長野市南石堂町1230の6番地（長建ビル内）

TEL 代表026-228-7200 FAX 026-224-3061 URL <http://www.choken.or.jp/>

長野県技士会は、昭和60年設立以来、技術者としての原点に立ち「安全で・良質で・早く・しかも経済的に」を目標とし、全国土木施工管理技士会連合会と連携し、(社)長野県建設業協会と協調を図りつつ、会員の技術力の維持及び向上のため諸事業を実施しています。

主な事業の内容は以下に記載のとおりです。

1 表彰

(1) 技士会連合会会長表彰

長野県技士会では、技士会連合会会長表彰規程に基き、毎年会長、理事・監事役員表彰及び優良工事受賞技術者の推薦をし、受賞をうけています。なお、平成22年度には長野県技士会が受賞しており、平成23年度には5名の会員が受賞しております。

(2) 長野県土木施工管理技士会会長表彰

当協会には15支部があり、毎年各支部よりの推薦を受け、「本会の役員としてその功績顕著な会員」、「技術の向上又は会員の地位向上に功績のあった会員」を例年総会において表彰しております。平成23年度においては、24名の会員が受賞されました。



現場技術研修会 浅川ダム

2 現場技術研修会

会員の技術力の維持向上を図ることを目的として、長野県技士会では各支部で技術研修会を開催しています。このようななか平成23年度には、技士会本部主催の現場技術研修会を開催し、各支部の技士会員をはじめ、65名の参加がありました。

研修会の現場は国補治水ダム建設事業長野市浅川ダムで行い、治水ダムとしては全国的にも施工例の少ない、穴あきダムの堤体コンクリートの打設及び湛水地地すべり対策工事の研修会を実施しました。

3 行政機関との意見交換会

長野県技士会では毎年技士会の主催により各支部会員の意見を基に、長野県との統括技術意見交換会を実施しています。

平成23年度は長野県建設部及び会計局検査課職員9名出席のもと、当技士会側からは会長他役員21名、技士会技術委員15名が出席して2月に意見交換会を実施しました。特に本年度は前年度の提案議題に対する県の回答について、平成23年度の状況を各支部で検証を行い、対応が不十分な議題については再提案議題として長野県に提出し、意見交換をおこないました。

またこの他、各支部においても毎年長野県現地機関との意見交換会を実施しています。

4 講習会の開催

長野県土木施工管理技士会では、各支部において会員の専門技術力アップのため、発注機関の協力の基に技術者セミナーの開催をはじめとして、土木専門技術研修等の講習会を、主催また共催により毎年数多く実施しています。本部主催としては(社)長野県建設業協会との共催による、情報共有システムの操作講習会等を実施しています。

会長 猪俣 茂 事務局長 八幡 泰市
〒950-0965 新潟県新潟市中央区新光町7番地5
TEL：025-285-7111 FAX：025-285-7119
URL：http://www.shinkenkyo.or.jp/gisikai/index.html

当技士会は会員の土木施工管理技士の社会的地位及び建設工事の適切な実施に必要な専門知識並びにその能力の向上に努め、もって会員の利益と公共の福祉に寄与することを目的とし、講習会等の開催に重点を置いて活動しており、現在の会員数は、法人会員である賛助会員が354社、個人会員である正会員が3,960名です。

活動の内容は、以下のとおりです。

1 表彰

毎年、技士会連合会表彰規程に基づき、表彰対象者を連合会に推薦している。なお、平成23年度受賞者は4人でした。

2 行政との意見交換会

各行政庁及び関係団体との意見交換会を実施しており、平成23年度は北陸3県技士会と北陸地方整備局の意見交換会に参加し、土木施工管理技士の抱える課題について改善していただけるよう要請を行っている。

また、建設業協会の直轄委員会等においても、当技士会の企画総務委員から参加していただき、様々な課題について意見交換を行っている。

3 講演会

毎年、総会後に講演会を実施しており、平成23年度は国土交通省北陸地方整備局企画部長による「最近の国土交通行政について」及び(株)建設経営サービスの講師による「これからの環境下における経営のあり方について」と題して行った。

4 講習会

(1) 技士会が主催するCPDS講習会

平成23年度は以下の講習会を実施した。

- ①県総合評価方式の説明会（県内3会場）
- ②平成22年度優良工事及び優良工事証受賞の技術発表会（県内2会場）
- ③工事現場見学会の開催

(2) 技士会連合会が主催するCPDS講習会

- ①監理技術者講習会（2回）
- ②JCMセミナー

(3) 国・県・他団体との連携

国・県及び(財)新潟県建設技術センター等関係団体が主催する講習会、説明会等について、共催者や後援者の立場で協力し、会員に周知を図っている。



通常総会



現場見学会

会長 梅本 正和 事務局長 生駒 秀和
〒930-0094 富山市安住町3-14 (富山県建設会館3階)
TEL (076) 432-5576 FAX (076) 432-5579

当技士会は、土木施工管理技士の社会的地位及び建設工事の適切な実施に必要な専門知識並びにその能力の向上に努め、もって公共の福祉に寄与する目的で事業を行っています。

活動の内容は以下のとおりです。

1 表彰

(1) 全国技士会連合会会長表彰

毎年、全国技士会連合会表彰規程に基づき役員、優秀技術者に該当する会員を表彰しています。平成23年度受賞者は4名。

(2) 富山県技士会会長表彰

優秀技術者に該当する会員を表彰しています。平成23年度受賞者は9名。

2 発注者との意見交換会

工事現場の課題等を共有するため各発注者との意見交換会を行っています。平成23年度は、県農水部幹部と役員、県土木部出先機関幹部と役員、北陸地方整備局と北陸三県役員で、各意見交換会を行いました。



発注者との意見交換会

3 講演会

毎年、総会時に行政庁に講師を依頼し、講演会を開催しています。本年度は北陸地方整備局から、中央の動きや今後の事業計画、契約制度等の講演でした。また、10回目を数える「技術検討会」を320名の技術者が集い開催しました。

4 講習会等

(1) 富山県技士会が主催

CPDSの普及に伴う受講意欲の高まりを受け、JCMセミナーを開催しました。

(2) 行政・関係団体と共催

県建設業協会や関係団体と共催で講習会、研修会を開催しました。平成23年度は、7回延べ1,200名の受講者でした。

(3) 監理技術者講習会

全国技士会連合会が主催する「監理技術者講習会」の設営・受付・講師手配等の支援、協力を行っています。平成23年度は県内2会場で実施されました。



全国技士会連合会会長表彰

会長 鶴山 務 事務局長 金谷 進
〒921-8036 石川県金沢市弥生2丁目1-23 建設総合センター内
TEL 076-242-1161 (代) FAX 076-241-9258
URL <http://www.ishikenkyo.or.jp>

当技士会は、会員相互の協力によって、土木施工管理技士の社会的地位及び建設工事の適正な実施に必要な専門の知識並びにその能力の向上に努め、もって公共の福祉に寄与する事を目的に活動しておりますが、その活動の内容は以下のとおりです。

1. 表彰

毎年、技士会連合会表彰規定に基づく表彰者を、定期総会時に当技士会の粗品を添えて伝達表彰式を行っている。なお、平成23年度の表彰者は2人である。

2. 行政機関との意見交換会

石川県技士会と富山、新潟技士会の共催にて毎年地方整備局との意見交換会を開催している。22年度は北陸地方整備局長、企画部長、企画部幹部の6名が出席、技士会側は3県正副会長、事務局が出席し、各県技士会提案議題に対する質疑や意

見交換を行っている。

3. 講演会

例年、技士定期総会時に、発注機関或いは会員会社の技術者等を招聘し、時宜に沿った話題事項、新工法、新技術、新工法、新材料などについての講演会を主催または他団体との共催で実施している。

4. 講習会・見学会等

平成23年度に実施した講習会としては、県内3会場において、DVD講習会を実施した。受講者は、3会場合計で131名が受講した。また、北陸管内で2カ年毎に開催されている、建設フェア（主催：北陸地方建設事業推進協議会に技士会会員を募り、見学を行なっている。その他「建設技術報告会」、「情報化施工説明会及び現地見学会」などについて、県建設業協会と主催あるいは共催で実施している。



DVD講習会



総会講演会

会長 松田 七男 専務理事 上坂 義一
〒910-0854 福井県福井市御幸3-10-15
TEL 0776-24-1184 FAX 0776-27-3003
URL <http://www.fukuikenren.or.jp/doboku/doboku.php>

当技士会は土木施工管理技士の技術力及び社会的地位の向上を図ることにより良質な社会資本の整備に貢献し、もって国民生活の向上に寄与することを目的とし、講習会等の開催に重点を置いた活動をしております。

活動の内容は以下のとおりです。

1 表彰

毎年、(一社)全国土木施工管理技士会連合会表彰規程に該当する会員を表彰している。なお、平成23年度は、理事表彰で2名、優良工事従事者に該当する会員表彰で2名、計4名が受賞した。

2 福井県との意見交換会

平成15年度から始まった福井県との意見交換会は、福井県の公共工事における現場施工上の技術的諸問題、疑問点、課題等について会員が福井県職員と意見交換し、今後の円滑な公共事業推進につなげることを目的として、毎年2月に実施している。

3 現地研修会

平成16年度から会員の技術力向上を目的に、毎年県内で国や福井県等が発注している工事現場を見学し、現場職員から事業の概要や工事施工上特に注意を払っている事項及び技術的に特出している事項等の説明を受ける。

4 講習会

(1) 当技士会が関係する講習会

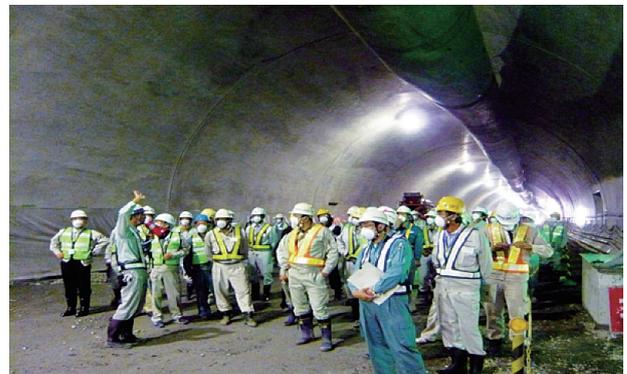
当技士会が主催、共催等により開催する講習会(CPDS対象事業)は、年間平均約15回程度開催している。なお、平成23年度は20回開催し、延べ1,417名の受講者となった。

(2) 監理技術者講習会及びJCMセミナー

(一社)全国土木施工管理技士会連合会が主催する「監理技術者講習会」を毎年4月と8月の計2回開催しており、年々受講者数は増加している。「JCMセミナー」は毎年1回開催している。平成23年度から始まった「JCMセミナー」DVD講習会は当技士会の1支部で開催した。



事務所内全景



現地研修会

会長：前田 守廣 事務局長：大中 隆則
住所：〒500-8502 岐阜市藪田東1-2-2
電話：058-273-3344 Fax：058-273-3138

当技士会は、優れた土木工事の施工技術を普及して建設工事の適正な施工を確保すると共に、土木施工管理技士の資質及び社会的地位の向上を図り、会員の利益と公共の福祉に寄与することを目的として、平成4年3月に設立し、CPDS（継続学習）制度の普及及び登録、関係機関への要望活動、土木施工管理技術の向上に関する研修会の開催、表彰等を主とした活動を行っています。

主な活動内容は、以下のとおりです。

1. CPDS（継続学習）制度の普及・登録

平成18年度より、当会会員のCPDS制度への登録制度を開始した。当初「515名」であった登録者数の平成23年度末における状況は、「2,470名」と大幅に増加し、土木施工管理技術の向上に大きく貢献している。

2. 関係機関への要望活動

岐阜県県土整備部に対し、土木技術等に関する意見交換会・要望を毎年度実施してきた。平成23年度においては「指名競争入札選定業者及び一般

競争入札参加可能者数の見直し、総合評価落札方式項目の見直し」についても意見交換を行うとともに要望活動を行った。

3. 土木施工管理技術の向上に関する研修会

土木施工管理技士の資格取得支援として、「1・2級土木施工管理技術検定試験受験準備講習会」を毎年実施している。

平成23年度においては、よりの確な現場管理を行うことで更なる品質向上を図るため、岐阜県県土整備部建設マイスターの坂口義博氏を講師として、「技術提案書の作成方法」並びに、同マイスターの岩田信昭氏を講師として「災害復旧事業における留意点」についての研修会を県内7箇所において開催し、607名が参加した。

4. 表彰活動

全国土木施工管理技士会表彰規程に基づき、「優良工事従事者」として、平成23年度までに35名の方が受賞され、定時代議員会にて伝達している。



事務所風景



表彰風景

会長 山田 壽久 事務局長 高田 明彦

〒420-0857 静岡市葵区御幸町9-9

TEL 054-255-0238 FAX 054-255-0239 k-6@sizkk-net.or.jp

当技士会は全国に先駆け昭和51年に設立以来、優れた土木工事の施工技術を普及して、建設工事の適正な施工確保を推進するとともに、土木施工管理技士の資質と社会的地位の向上を図り、あわせて地域生活や社会資本の整備と建設業の発展に寄与する目的を持って活動しています。

活動内容は以下のとおりです。

1 意見交換会

- (1) 毎年、国土交通省出先各事務所副所長と意見交換会を実施、アンケート調査の結果について回答意見交換を実施している。
- (2) 県交通基盤部と技術懇談会を東・中・西と3会場で実施H23年度は381名が参加、会員アンケート調査結果の回答をいただき意見交換等の取りまとめを実施している。
- (3) 各地区技士会において出先行政庁との意見交換会を実施している。

2 講演会

- (1) 技士会総会時、県交通基盤部に講師依頼し最新の建設政策の講演を実施している。
- (2) 各地区技士会において出先行政庁による講演を実施している。



現場見学会

3 技術研修会

- (1) 各地区技士会において工事発表会を実施、工事施工の技術的問題点、創意工夫等を発表し会員の勉強、意見交換を実施し技術の向上に努め、又優秀発表者は本部にて表彰を実施している。
- (2) 各地区会員より工事論文を募集し、審査のうえ連合会へ提出し、CPDSユニットの取得に協力し、承認論文は当技士会HPに掲載広く周知している。
- (3) 毎年、本部各地区技士会において現場見学会を実施し、最新の施工知識を取得している。
- (4) 毎年、1・2級土木施工管理技術検定試験準備講習会を開催し資格取得者に協力している。

4 奉仕活動

- (1) 道路愛護活動（清掃活動）、親子現場見学会、土木系高等学校生徒の施工体験や講演会を実施
土木工事への理解及び地域貢献を実施し技士会のPRをしている。



技術研修会

会長 小林 永知 事務局長 鈴木 奎吾
〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目28番21号 愛知建設業会館内
TEL代表 052-241-8984 FAX 052-241-8987

当技士会は土木施工管理技士の品位、社会的地位の向上に努め、もって会員の利益と公共の福祉に寄与するものを目的とし、講習会の開催、機関誌の発刊等に重点を置いて活動しております。活動の内容は以下のとおりです。

1. 表彰（技士会連合会会長表彰）

毎年、技士会連合会表彰規定に基づき会長、監事・理事、職員表彰および優良工事従事者に該当する会員を表彰している。なお、平成23年度の優良工事受賞者は3名。

2. 発注者側との意見交換会

国土交通省中部地方整備局との意見交換会を毎年東海四県の技士会と合同で実施している。発注者側は6名程度出席。

また愛知県建設部とは、毎年他協会と共催で意見交換会を実施している。発注者側は10名程度出席。

3. 講演会

毎年総会后、行政機関に講師を依頼し、講演会

を実施している。平成23年度は愛知県建設部の幹部職員による講演会を実施した。演題は「建設部門の社会資本整備」。

4. 機関誌の発刊

県下のプロジェクト、新技術紹介、現場紹介等を掲載した機関誌「礎あいち」を毎年発刊しています。特に今年は東日本大震災の復旧支援活動を掲載しました。

5. 講習会

(1) JCMセミナー（CPDS認定講習）

連合会主催。1回開催。93名受講。

(2) 監理技術者講習会

・連合会主催。2回開催。62名受講。

・（財）全国建設研修センター主催。29回開催。3744名受講。

技士会が受付事務等の支援・協力。

6. 見学会

年1回開催。H23年度は、岐阜県大野郡の飛騨トンネル避難坑を見学。参加者30名。



現場説明会



現場見学会

会長 池田 彰公 専務理事 松井 明 事務局長 大井 良之
〒514-0003 三重県津市桜橋二丁目177番地の2
TEL 059-224-4116 FAX 059-228-6143

当技士会は土木施工管理技士の更なる技術向上を図るとともに人材育成のため会員研修会及び優良技術者の表彰を毎年実施しております。活動の内容等は以下の通りです。

1、表彰

(1) 技士会連合会会長表彰

毎年、技士会連合会表彰規定に基づく優良工事従事者に該当する会員を表彰している。なお、平成23年度は2名。

(2) 三重県土木施工管理技士会会長表彰

国、地方公共団体等が発注した工事のうち完成後優良工事として表彰された会社のその工事に主任技術者、及び監理技術者として従事した者、及び上記団体から優良技術者として表彰された者を毎年会長表彰している。平成23年度は5名。

2、講習会

(1) 会員研修会の開催

会員の技術の習得向上及び工事の適正な施工管理を図るため研修会を毎年実施している。平成23年度は、広島工業大学工学部都市デザイン工学科十河茂幸教授に講師を依頼して以下の通り実施した。

①講習内容

- ・ひび割れのメカニズムと対策
- ・材料選定と配合設計技術
- ・コンクリート施工の基本
- ・コンクリートに関する最近の話題コンクリートの基礎知識と応用技術研修

②受講者（3会場）114名

(2) 土木工事積算実務講習会の開催

（社）三重県建設業協会、三重県土木施工管理



会員研修会

技士会、（財）建設物価調査会中部支社と共催で土木工事積算実務講習会を毎年実施している。

①講習内容

- ・平成23年度積算基準・歩掛の改正事項の説明
- ・工事費積算の仕組みと手法の解説
- ・直接工事費積算の基礎的事項の解説
- ・間接工事費積算の基礎的事項の解説
- ・一般管理費等積算の基礎的事項の解説
- ・土木工事標準歩掛の解説
- ・土木工事設計書の積算事例とその解説
- ・積算演習とその解説

②受講者（1会場）14名

(3) 平成23年度特別JCMセミナーの開催

技士会連合会と共催でJCM特別セミナーを行った。

①内容技術提案ワンポイントコース

②受講者（1会場）27名

3、その他

(1) 東日本大震災被災地の視察

技士会連合会主催の「東日本大震災被災地フロントライン研修」への当技士会理事1名参加。



活動状況 社団法人滋賀県土木施工管理技士会

会長 森本 治 事務局長 小島 甲喜

〒520-0801 滋賀県大津市におの浜一丁目1番18号

TEL 077-522-3232 FAX 0770-522-7743 URL <http://www.yumeken.or.jp>

当技士会は会員相互の協力によって、建設工事の適切な施工に必要な専門の知識の普及、並びに土木施工管理技士の社会的地位及び能力の向上に努めることにより、滋賀県の社会基盤の整備に貢献し、もって公共の福祉に寄与することを目的とする。

重点的取組み事項

- 1、土木施工管理技術に関する調査研究・啓発
- 2、継続学習制度（CPDS）の推進及び研修・講習会の実施
- 3、現場の諸課題の改善に関する発注機関への要望活動と会員への周知
- 4、土木施工管理技士の社会的評価の向上に関する事業
- 5、災害によるインフラ整備、復旧工事に関する情報収集及び調査・研究

事業の内容

1. 調査研究・情報収集・提供及び啓発事業

- (1) 工事書類の簡素化に関する情報収集・提供及び啓発・調査研究
- (2) 環境に配慮した施工事例に関する調査研究・情報収集及び啓発
- (3) 各種ガイドラインの情報収集・提供及び啓発
- (4) 安全対策に関する情報収集・提供及び啓発事業
- (6) コンクリートの品質管理に関する情報収集・提供及び啓発
- (7) 舗装工事技術に関する情報収集・提供及び啓発
- (8) 下水道維持管理に関する情報収集・提供及び啓発

2. 研修及びCPDS認定講習会の実施

- (1) 1・2級舗装施工管理技術者試験受講準備

講習会

- (2) 公共工事の品質に関する講演会
- (3) 1・2級土木施工管理技士試験受験準備講習会
- (4) コンクリート品質管理に関する講習会
- (5) 現場管理講座
- (6) 工事成績表定点アップのためのセミナー
- (7) 公共土木工事積算実務講習会
- (8) 工事検査・総合評価方式講座
- (9) 施工不良の改善策講習会
- (10) 技術提案書作成セミナー
- (11) JCMセミナー特別講習会
- (12) 各支部において実施する現場見学会及び研修・講習会の支援
- (13) 継続学習制度（CPDS制度）の普及・推進

3. 現場の諸課題の改善に関する事業

- (1) 滋賀県土木交通部監理課との意見交換会・近畿地方整備局と技士会近畿ブロック連絡協議会との意見交換会
- (2) 「三方良し」公共事業のためのハツラツ現場推進会議

4. 社会的評価の向上に関する事業

- (1) 会員加入促進事業の展開
- (2) 会員の表彰事業
- (3) 全国技士会連合会会長表彰
- (4) イメージアップ活動、社会貢献活動への取組

5. 災害対応に関する情報収集及び調査・研究事業

- (1) 過去の被災状況の調査研究
- (2) 応急復旧工法の調査研究・検討
- (3) 災害時の出勤・連絡・応急復旧活動訓練

会長 岡野 益巳 事務局長 平岡 幹弘
〒604-0944 京都府京都市中京区押小路通柳馬場東入ル橘町645
TEL代表 075-231-4161 FAX 075-241-3128
URL <http://www.kyokenkyo.or.jp/dantai/doboku.html>

当技士会は、会員相互の協力によって、土木施工管理技士の社会的地位及び建設工事の適正な実施に必要な専門の知識、並びにその能力の向上に努め、もって会員の利益と公共の福祉に寄与することを目的とし、講習会等の開催に重点を置いて活動しております。

活動内容は以下のとおりです。

1. 表彰

毎年、技士会連合会表彰規定に基づく各協会会長表彰、監事・理事表彰、優良工事従事者に該当する会員を表彰している。なお、平成23年度は2人の受賞者であった。

2. 近畿地方整備局との意見交換会

毎年、近畿地方整備局と土木施工管理技士会近畿地区ブロック連絡協議会との意見交換会を実施している。

平成23年度は、国土交通省近畿地方整備局長ほか10人、全国土木施工管理技士会並びに土木施工管理技士会近畿地区ブロック連絡協議会の各府県技士会会長等29人の出席の下で実施した。

3. 講習会

(1) 技士会が主催する講習会

毎年、府内2会場の4回開催で年内にCPDS講習会を計8回実施している。

それ以外にも必要に応じて講習会を実施している。

平成23年度はCPDS講習会を12回開催し、受講者数は延べ約1,000人であった。

(2) 建設関係団体が主催する講習会

建設関係団体が主催する講習会・講演会等に後援者の立場で協力し、会員に周知を図っている。

4. フィールド実験

平成22年度、23年度にかけてアクリル板を型枠として使用し、振動締め時に粗大空気泡並びにブリージング水がどのような状態になるのか、適度な締めめと・過振動による場合の生コンクリートの性状変化について調べる実験を行った。



CPDS講習会



フィールド実験

会長 奥野 博明 事務局長 阪本 直樹
〒569-0034 大阪府高槻市大塚町1丁目14番13号
TEL 072-669-7730 FAX 072-671-9565
URL <http://www.osaka-cmea.jp>

当技士会は大阪府域を中心に土木施工管理技士等の技術力・社会的地位の向上及び土木工事の安全・品質・効率・土木施工管理技術の向上を図ることにより、良質な社会資本の整備に貢献し、もって国民生活の向上に寄与することを目的とし平成23年2月に設立しました。

設立から現在までの約1年間の活動状況は以下のとおりです。

1. 設立

(社)全国土木施工技士会連合会(以下、連合会と言う)より47最後の地方技士会として当技士会の設立依頼があり平成23年2月15日に設立総会を開催。連合会小林会長、猪熊専務理事をはじめ発起人他、総勢17名により全ての議案が承認され当技士会が設立しました。祝賀会には来賓として、国土交通省近畿地方整備局企画部長塚田様、同企画部技術調整管理官山本様にご出席いただき盛大に執り行われました。また、平成23年3月4日に行われた連合会の通常理事会において当技士会の連合会への加入が承認されました。



設立総会(会長挨拶)

2. 意見交換会

平成24年2月21日に国土交通省近畿地方整備局と土木施工管理技士会近畿ブロック連絡協議会との意見交換会が開催されました。発注者側は国土交通省近畿地方整備局長をはじめ10名が出席、近畿ブロック側は各技士会会長ほか28名が出席。日々現場にて活動している土木施工管理技士として技術者目線からの要望に対し意見交換を行いました。

3. 会員数の推移

当技士会の現在(平成23年度末)までの会員数の推移は以下のとおりです。

平成23年度	会員数	累計
第1四半期末	57人	57人
第2四半期末	31人	88人
第3四半期末	38人	126人
第4四半期末	55人	181人
合計	181人	181人

4. さいごに

この1年間の活動を振り返ってみますと主な活動としては会員の募集に努めてまいりましたが、まだまだ認知度がなく、大阪には2,000名強のCPDS加入者が非会員となっております。また、講習会等の開催につきましても来年度には開催できるように準備しております。

東京に次ぐ大都市である大阪にある技士会として、将来的に一日でも早く大阪の地名に見合った技士会となるように、また、会員様に対しメリットのある技士会として活動してまいりたいと思っています。

会長 川嶋 実 副会長 三木 健義・西垣 嘉夫 事務局長 石田 恭一
〒651-2277 神戸市西区美賀多台1-1-2 ((社) 兵庫県建設業協会内)
TEL 078-997-2308 FAX 078-997-2307

当技士会は、会員の品格と社会的地位の向上及び施工技術（建設工事）を適正に実施するために必要な専門の知識及びその能力の確保とその向上に努め、もって会員の利益と公共の福祉に寄与することを目的とし、技術研修会、現場研修会等の開催を重点に活動しています。

設立：昭和53年9月22日
会員数：1,766人、法人会員87社（H24.2末）
初代会長：三木尚敏、2代会長：松田達
活動の内容は以下のとおりです。

1 表彰

技士会連合会会長表彰

技士会連合会表彰規程に基づき、会長表彰、理事・監事表彰、優良工事従事者に該当する会員の表彰を、通常総会で伝達している。

平成23年度受賞者は3人。

2 関係機関との意見交換会

設計・積算、現場での問題・課題等について、毎年、近畿地方整備局及び兵庫県と各1回意見交換会を実施している。

整備局とは、平成23年6月、技術調整管理官ほか県内6事務所の幹部17名、当技士会会長ほか18名出席のもとで実施した。



23年度現場研修会（与布土ダム堤体建設工事）

兵庫県とは、平成24年2月、県土整備部関係課長等5名、当技士会会長・副会長・理事等6名出席のもとで実施した。

3 技術研修会

毎年、広い県内の会員分布に配慮し、神戸・但馬・姫路・西宮でCPDS認定の技術研修会を実施している。

毎回、学識経験者・近畿地方整備局・兵庫県・協会・先進技術開発企業などに講師を依頼し、1回あたり6ユニットの取得研修とし技術力の向上に努めている。

平成23年度は計4回・21ユニット開催し、約500人が受講した。

また、技士会連合会との共催でJCMセミナー特別講習会も開催し会員の要望に応じている。



23年度近畿地方整備局との意見交換会

4 現場研修会

会員の施工技術の向上を目的に、施主・施工者など関係者の協力をいただき、技士会発足以来毎年実施している研修で、道路、トンネル、河川、ダム、橋梁などの施工中の現場で、新たな技術力の取得に努めている。

平成23年度は、但馬地域で施工中の、円山川水系の与布土ダム堤体建設工事と丹波地域での県道・清水坂トンネル（仮称）建設工事現場見学会を53名参加のもとで実施した。



活動状況 奈良県土木施工管理技士会

設立年月日 平成7年12月8日

会長 松本 良三 事務局長 西川 良秀

所在地 〒630-8241 奈良県奈良市高天町5番地の1

TEL 0742-22-3345 FAX 0745-22-3346

<http://www.nakenkyo.or.jp/>

本会は、会員相互の協力によって建設工事の専門知識の普及、並びに土木施工管理技士の社会的地位及び品位の向上を図り、建設技術水準の発展に寄与することを目的とし、講習会等の開催に重点を置いて活動をしております。

活動の内容は以下のとおりです。

1. 行政側との意見交換会

近畿地方整備局及び奈良県と奈良県建設業協会との意見交換会において意見交換を行っている。

2. 表彰

毎年、技士会連合会表彰規程に該当する会員を表彰している。

3. 講習会の開催

会員の技術力維持・向上に関する事業として、全国技士会連合会のCPDS学習プログラム認定を受け講習会を実施している。

・奈良県土木施工管理技士会主催

「現場代理人のための提案力・折衝力向上講座」、「技術者のための提案力向上講座」等の講習会を実施した。

・奈良県火薬類保安協会との共催

奈良県火薬類保安協会との共催で保安教育講習会、再教育講習会を実施した。

4. 安全衛生現場パトロール

労働災害の絶滅、安全衛生水準の向上に向けて、建災防奈良県支部の各分会が実施している安全衛生現場パトロールへの参加をしています。

5. 広報活動

土木施工管理技術に関する調査研究、情報の収集を目的とし、毎年「土木技術手帳」、書籍（平成22年度は「安全衛生早見表を配布」）等を会員に配布。

6. 会員状況（平成24年7月31日現在）

1 級土木施工管理技士 665名

2 級土木施工管理技士 127名

合 計 792名



活動状況 和歌山県土木施工管理技士会

設立年月日 昭和52年5月19日

会長 丸山 守夫 事務局長 浅田 殊彦

所在地 〒640-8262 和歌山県和歌山市湊通丁北1丁目1-8

TEL 073-436-5611 FAX 073-436-2567

Email wakayama-kenkyou@axel.ocn.ne.jp

本会は、会員相互の協力によって建設工事の専門知識の普及、並びに土木施工管理技士の社会的地位及び品位の向上を図り、建設技術水準の発展に寄与することを目的として、現場見学等の開催に重点を置いて活動しております。

活動内容は以下のとおりです。

1. 行政側との意見交換会

必要に応じて、近畿地方整備局及び和歌山県と和歌山県建設業協会との意見交換会を行っている。

2. 表彰

毎年、技士会連合会表彰規程に該当する会員を表彰している。

3. 現場見学会

会員が新しい現場を見ることにより、技術が向上の為に關する事業として、毎年一回行っている。

4. 安全衛生現場パトロール

労働災害の絶滅、安全衛生水準の向上に向けて、建設業労働災害防止協会和歌山県支部の各分会が実施している安全衛生現場パトロールへの参加をしている。

5. 会員状況（平成23年12月末日）現在

伊都支部	127名	有田支部	80名
那賀支部	80名	日高支部	266名
和歌山市支部	230名	紀南支部	242名
浅川組支部	20名	串本支部	76名
海南支部	87名	新宮支部	161名
計	1,369名	CPDS加入者数	1,156名

会長 下本 八一郎 事務局長 中村 力男
〒680-0022 鳥取市西町2丁目310 鳥取県建設会館内
TEL：0857-24-2281 FAX：0857-24-2283
URL：http://www.tori-gisi.or.jp/dd.aspx

本会は、昭和61年5月設立、翌年2月鳥取県知事から社団法人の認可、同年全国土木施工管理技士会へ加入、以来会員相互の協力によって、土木施工管理技士の品位と社会的地位の向上を目指し、建設工事を適確に施工するために必要な専門知識及びその能力の習得に努め、公共の福祉に寄与することを目的に活動しています。

現在本会は、公益法人改革に伴い、平成24年度一般社団法人認可申請、平成25年4月1日登記を目指して準備を進めています。

本会の主な事業活動は、以下のとおりです。

1. 研修・講習会の実施

- (1) 鳥取県の格付における加点研修の実施（年5講習10日間開催）
- (2) 1.2級土木施工管理技術検定試験受験準備講習会（各3日間開催）
- (3) 監理技術者講習の開催（年3回3会場）
- (4) CPDS制度の推進（会員の学習履歴登録及び学習履歴証明書の発行業務）

2. 土木施工管理技術に関する調査・研究

（H23：提出書類の簡素化及び電子納品）

3. 表彰事業

- (1) 全国技士会連合会長表彰への推薦（役員2名、優秀技術者2名）
- (2) 鳥取県技士会長表彰（平成23年32名受賞）（国、県の優良工事担当技術者を表彰）

4. 行政庁との意見交換及び交流会

- (1) 中国技士会連合会との懇談会（中国地整局長他、中国各県土木関係部長他、中国各技士会会長・副会長出席）

- (2) 鳥取県県土整備部長と女性会員との意見交換会
- (3) 鳥取県内各県土整備局と各地区技士会
- (4) 各地区技士会と発注者・測量設計業者・施工者の三者による交流会
- (5) 鳥取県と技術委員との意見交換会



県土整備部技術企画課との意見交換会

5. 平成23年度第22回建設技術発表会の開催

（発表者：技士会会員、国交省、鳥取県）



平成23年度第22回建設技術発表会

6. 土木施工管理技術の情報収集及び情報提供

- ・ホームページにより、迅速な情報提供とメール配信サービスの活用



活動状況 島根県土木施工管理技士会

会長 長岡 秀治 専務理事 玉串 昭 事務局長 辻 友博
〒690-0048 島根県松江市西嫁島1-3-17-101 (社団法人島根県建設業協会内)
TEL 0852-21-9004 FAX 0852-31-2166

当会は、会員相互の協力によって、土木施工管理技士の品位と社会的地位の向上を目指し、かつ建設工事を的確に施工するために必要な専門知識及びその能力の習得に努め、もって公共の福祉に寄与することを目的として活動をしております。

当会は、平成3年4月16日に初代会長は梶野悦宏氏(H3.4.16～H9.6.9)のもと、会員1,367名で設立しました。2代会長は筒井寛氏(H9.6.9～H19.4.10)で、現会長の長岡秀治氏(H19.4.10～現在)は3代目の会長にあたります。この間、会員数は、平成15年度の2,769名をピークに減少を続け、平成23年度は2,340名となっております。

昨年は、創立20周年の年にあたり、御来賓を含め約180名が参加し盛大に記念式典を開催しました。当日は京都大学教授の藤井聡氏から、「公共事業が日本を救う」についてご講演を賜り、元気を頂きました。あらためて社会的重要性を自覚し、地域の安全・安心を担う我々の役割を確認するとともに、今後の活動に精進するよう会員一同思いをあらたにしたところです。

毎年の活動状況としては、行政との意見交換会、

現場見学会、講習会等を実施しております。行政との意見交換会の内容としては、我々がよりよい社会資本基盤の整備に貢献するために、国土交通省中国地方整備局、島根県に対し、設計積算や入札契約制度等について意見要望を伝え意見交換をするものです。現場見学会は、平成23年度は例年参加者100人規模で開催し、座学と大規模な土木工事現場見学といった内容です。中国横断自動車道尾道松江線の広島県内三次JCTとその周辺のIC建設現場を見学しました。講習会等については、その実施や共催、また他団体が実施する講習会等の後援をおこなっております。特に、平成23年度からは社団法人全国土木施工管理技士会連合会が実施する監理技術者講習について実施協力を行っております。

また、中国5県技士会による中国土木施工管理技士会連合会や、社団法人島根県建設業協会、公益財団法人島根県建設技術センター等関係団体との連携をし、情報収集、業務協力等に努めています。



現場見学会



創立20周年記念式典

会長 辻 孝 事務局長 岡野 健一
〒701-1201 岡山県岡山市北区首部294番地7
(財団法人岡山県建設技術センター内)

TEL 代表086-286-4510 FAX 086-286-284-4443

当技士会は会員の品性と社会的地位の向上を目指し、かつ、建設工事を的確に施工するために必要な専門的知識及びその能力向上に努め、もって公共の福祉に寄与することを目的とし、講習会等の開催に重点をおいて活動しております。活動の内容は以下のとおりです。

1 表彰

(1) 技士会連合会会長表彰

毎年、技士会連合会会長表彰規程に基づく各協会表彰、監事・理事表彰、優良工事従該当する会員を表彰している。

なお、平成23年度受賞者は2名でした。

2 行政側との意見交換会

必要に応じて、土木施工管理技士会と各行政庁及び関係団体との意見交換会を実施している。

平成23年度は、国土交通省中国地方整備局副局長ほか8人、中国各県土木建築部の部長他が出席、また、中国土木施工管理技士会側は各技士会会長等25名の出席の下で実施した。

3 講演会

毎年当技士会総会、理事会等において学識経験者他に講師を依頼し、講演会を実施している。

平成23年度は、地元大学教授による「岡山平野の基盤構造からみた地震災害」と国土技術政策総合研究所主任研究官による「まちづくりの指技南役～地域を活かす技術者達～」の2演目で実施し受講者は、57名でした。

4 講習会

(1) 技士会が主催する現地研修会・講習会

毎年定期的に現地研修会並びに技術講習(CPDS対象)を実施している。

平成23年度現地研修会は、秋期に行い県内の道路工事3箇所を視察し参加者は40名でした。

また、技術講習会は、冬期に行い中国地方整備局の幹部職員による「建設業をとりまく最近の動向」、「指定仮設と任意仮設及び工事の品質確保」、「知っておきたい防災基礎知識」の3演目で実施し受講者は63名でした。



講演会



現場研修会



技術講習会

会長 島田 伸彦 事務局長 常光 秀夫

〒730-0013 広島県広島市中区八丁堀11-28 朝日広告ビル5F

TEL 082-223-4311 FAX 082-221-7898

広島県土木施工管理技士会は、平成4年に設立され、発足当初1,808名であった会員は、現在では3,666名に至っている。当技士会の13支部と連携して次のとおり技士会活動を実施している。

1 表彰

(1) 全国土木施工管理技士会連合会会長表彰

技士会連合会から表彰を受けた者に対して、当技士会の総会において連合会会長表彰の伝達を行っている。平成23年度の伝達者は7名。

(2) 広島県土木施工管理技士会会長表彰

当技士会員等表彰規定に定める表彰基準（永年功労等）に該当する会員を表彰している。平成23年度の表彰者は13名。

2 行政庁との意見交換会

中国土木施工管理技士会連合会を通して行政庁との意見交換会を実施している。平成23年度は中国地方整備局8名、中国各県土木関係部局6名、技士会連合会2名、中国各県技士会の会長等26名の出席の下で実施した。

3 講演会

当技士会の総会において行政庁に講師を依頼して講演会を実施している。平成23年度は中国地方整備局の幹部職員による講演会を実施した。演題は「国土交通行政をめぐる最近の動向について」。

4 講習会

(1) 当技士会が主催する講習会

県内5会場において、同一演題、同一講師によるCPDS認定講習会を実施している。平成23年度は技士会連合会発行の「指定技術講習用テキストⅢ」により実施し、受講者848名。

(2) 各支部が主催する講習会

当技士会の13支部において、各支部が選定した演題、講師により講習会を実施している。平成23年度は延べ16回実施、受講者952名。

(3) 技士会連合会が主催する講習会への協力

監理技術者講習、JCMセミナー、同DVD講習会、同特別講習会など技士会連合会が主催する講習会の広島開催に対し積極的に協力している。平成23年度は監理技術者講習を5回実施、受講者488名。JCM講習会は3回実施、受講者219名。

5 ボランティア活動の実施

当技士会の支部では平成17年から植樹や枝打ち等のボランティア活動を実施している。平成23年度は広島市森林公園において、支部会員、会員の家族等180名によりもみじの苗木の植樹を行った。



広島市森林公園における植樹風景

6 創立20周年記念式典

平成24年4月26日、来賓、役員、会員等130名が出席して創立20周年を祝すとともに今後の活動を誓った。



創立20周年記念式典風景

(会長) 勝井 優 (副会長) 吉富 壮克、内崎 茂 (事務局長) 広田 隆行
〒753-0074 山口市中央4丁目5-16 (山口県商工会館4階)
TEL 083-922-2633・FAX 083-923-7101・E-mail gishikai-h.35@yamaken.or.jp

1. 概要

本会は平成3年2月に設立、本年で22年目になりました。この間、土木施工管理技士の地位の向上や技術力の向上を目的とした各種事業への取り組みを進め、平成23年度末現在の会員数は2,800名です。

平成11年度には、当会会員への表彰制度を創設し、国・県の優良工事表彰などの工事に技術職員として従事された会員や技術振興に功績のあった会員に対し、毎年通常総会において表彰を行い、表彰受賞者数も189名となっている。

2. 技術講習会

平成13年度より資格取得後の計画的な学習の場として、全国技士会連合会が企画運営する「継続学習制度 (CPDS)」に対する取り組みを基幹的事業と位置付け、平成14年度から「CPDS指定技術講習会」を開設、平成22年度からは「CPDS特別技術講習会」を開設、また各支部においても独自の講習会を開設するなど、会員に学習の場を提供している。これら技術講習会の受講者数は年々増加しており、昨年度本部主催講習会では延べ

1,900名を越えている。

また、全国技士会連合会主催の監理技術者講習について、年2回開催支援している。

3. 委員会及び発注者との意見交換会の開催

企画運営・技術合同委員会を開催し、各委員の意見や講習会での会員アンケートの意見などを集約協議して本会の業務運営や会員の技術向上に反映するとともに、これらの意見を取りまとめ「県土木建築部技術管理課との意見交換会」を実施、この結果を会員に周知することにより、日々の業務の参考に資することとしている。

4. その他

今後も、引き続き上記の主要事業の実施に加え、中国地方建設技術開発交流会への参加、コンクリートのひび割れ抑制対策への取り組みなど、国・県などの関係機関と連携しながら、これら各種の事業を通じて会員の技術力の維持・向上に努めることとしている。

また、ホームページを通じて会員へ各種情報の発信を行うこととしている。



通常総会・表彰式



技術講習会

会長 五藤 康人 事務局長 小島 祥圓

〒770-0931 徳島市富田浜2-10 TEL 088-622-3113 FAX 088-652-7609

当技士会は、土木施工管理技士の品位と社会的地位の向上を旨とするとともに、建設工事を適正に施工するために必要な専門知識およびその能力の習得に努め、もって会員の利益と公共の福祉に寄与することを目的とし、研修会、講習会等の開催に重点をおいて活動しております。

活動の内容は以下のとおりです。

1. 講習会研修会

(1) 徳島県技士会が主催する講習会

施工管理技士の技術の研鑽として「工事成績対策講習会」「施工計画書（提案書）の作成講習会」「建設現場管理セミナー」（述585名）などを開催している。また土木施工管理技士資格取得支援のための「受験準備講習会」を実施している。特に昨年は、「東日本大震災から学ぶ災害対応研修会」を開催し大災害時の対応を学んだ。今後も、時代のニーズ、技士会会員の要望をふまえた講習内容となるよう、充実拡大していく方針である。

(2) 四国技士会連合会が主催する講習会

発注側講師による講習として「四国4県統一テーマ講習会」（午前各県毎の講習、午後四国地方整備局講師の四国共通講習）を年1回開催している。

(3) 監理技術者講習

（社）全国技士会連合会の監理技術者講習を年2回実施している。

(4) 建設業BCP

災害時に早期の公共施設の復旧、地域の復興に寄与するため、BCP策定について社団法人徳島県建設業協会とともに啓発、普及を図った。その結果、国土交通省では32社が取得している。また、徳島県建設業BCPが導入されることから、会員へ周知し取得を促している。

2. CPDS

徳島県発注工事における総合評価落札方式における配置予定技術者評価に、CPDSの評価の導入

要請の結果、認められた。今後は対象講習会を増やしていく。

3. 調査研究

徳島県では、3連動地震（東海・東南海・南海）や南海トラフ地震の発生が想定されることから、徳島県危機管理部と協議し、大規模災害想定対応研修会を開催する。

また、四国技士会連合会として監理技術者等にアンケート調査を実施し行政庁に要望事項の参考資料として添付している。

4. 行政庁との意見交換会

四国土木施工管理技士会において年1回、発注機関との意見交換会を実施。国土交通省四国地方整備局長ほか、県幹部が出席し各県技士会長等で意見交換を行っている。

徳島県県土整備部とは技術管理に関する意見交換を不定期ではあるが継続している。

5. 表彰

(1) 全国技士会連合会会長表彰

連合会規程に基づき、優良工事従事者の会員受賞者、理事・監事・職員の該当者を表彰している。

(2) 徳島県技士会会長表彰

当技士会規程に基づき、功績者の表彰を実施している。



東日本大震災研修会

会長 佐々木 正富 事務局長 佐藤 准一

〒760-0026 香川県高松市磨屋町6番地4 香川県建設会館2階

TEL 087-851-7919 FAX 087-821-4079

当技士会は会員相互の協力によって土木施工管理技士の社会的地位の向上を目ざし、かつ建設工事を適正に施工するために必要な専門知識およびその能力の習得に努め、もって会員の利益と公共の福祉に寄与することを目的とし、活動しております。

1. 表彰

香川県土木施工管理技士会会長表彰

当技士会表彰規定に定める表彰基準（国・県等の公的機関から表彰を受けた工事に従事した現場技術者）に該当する会員を表彰している。

2. 発注機関との意見交換会

必要に応じて、当技士会と各行政庁及び関係団体との意見交換会を実施している。なお、平成23年度は四国地方整備局と2回、香川県土木部と2回実施した。

3. 講習会

(1) 技士会が主催する講習会

毎年、四国四県統一テーマによるCPDS講習会を実施している。また、会員が必要とする講習会を随時行っている。なお、平成23年度は6回実施した。

(2) 国・県等及び関係団体が主催する講習会に協力し、会員が積極的に参加している。

(3) 監理技術者講習

技士会連合会が主催する監理技術者講習の実施業務を行っている。なお、平成23年度は4回実施した。

4. 現場見学会

代表的工事の現場見学会を実施している。



事務所内全景



講習会風景

会長 星加 隆夫 事務局長 武田 栄生

〒790-0002 愛媛県松山市二番町4丁目4-4 愛媛県建設会館4階

TEL 089-931-7881 FAX 089-931-7893 URL <http://www.himegisi.com>

当技士会は土木施工管理技士の品質と社会的地位の向上を目ざし、かつ建設工事を適正に施工するために必要な専門知識およびその能力の習得につとめ、もって会員の利益と公共の福祉に寄与することを目的として活動しています。

愛媛県技士会会長表彰

国や県が実施している優良建設工事表彰の受賞者および受賞工事の現場責任技術者の表彰を行っており、23年度の受賞者は42名（対象者は会員のみ）。

行政側との意見交換会

四国土木施工管理技士会連合会総会において、四国地方整備局および四国各県土木部との意見交換会を実施している。

講習会

(1) 土木施工管理検定試験受験準備講習会

土木施工管理技士の資格取得促進のため1級学科試験受験準備講習会（6日間）、1級学科実力テスト（1日）、1級実地受験準備講習会（2日間）、

2級受験準備講習会（3日間）を行い、23年度は合計230名が受講している。

(2) 愛媛県技士会主催の講習会

土木施工管理技士に必要な知識の習得のための土木施工管理技術講習会を行い、23年度は県内3会場で合計522名が受講している。

(3) 監理技術者講習

愛媛県内での監理技術者講習（主催：全国技士会連合会）の開催協力を行っている

(4) その他講習会

四国土木施工管理技士会連合会による四国4県統一テーマ技術講習会を四国各県にて行い、23年度の愛媛県では214名が受講。また、他団体が行う講習会等に後援として協力を行っている。

その他活動

技術図書の販売や、他団体等が発行する技術図書の斡旋を行っている。



土木施工管理技術講習会



事務所内全景

会長 田邊 聖 事務局長 石津 知己

〒780-0870 高知県高知市本町4丁目2-15 高知県建設会館5階

TEL 088-825-1844 FAX 088-825-1848 URL <http://www.kochigisi.or.jp>

当技士会は、土木技術に関し、調査研究研修などを行うことにより施工技術の向上を図り、より質の高い社会資本の整備を図ることで、国土の利用、整備又は保全に貢献し、もって公共の福祉に寄与することを目的とし、講習会現場研修等の開催に重点をおいて活動しております。

活動の内容は以下のとおりです。

1. 講習会研修会

(1) 高知県技士会が主催する講習会

「土木施工管理技術講習会」を県内3カ所で年5回、同一内容講師で開催（H23;651名）。また土木施工管理技士資格取得支援のための「受験準備講習会」を実施している（〃;84名）。今後も、受講者要望をふまえ、そのニーズに応えた講習内容となるよう、充実拡大していく方針である。

(2) 四国技士会連合会が主催する講習会

発注側講師による講習として「四国4県統一テーマ講習会」（午前各県毎の講習、午後四国地方整備局講師の四国共通講習）を年1回開催（〃;138名）している。

(3) 監理技術者講習

（社）全国技士会連合会の監理技術者講習を年5回実施している。（〃;271名）

(4) 現場見学会

発注側、施工業者に協力を仰ぎ県内各所で行われている工事現場等見学会を年1回開いている。昨年度は、この県内現場研修（47名）に加えて、東北被災地フロントライン研修も開催。24名の技術者の参加があった。

2. 会報の発行

年2回（冬号・夏号）会報を発行している。

全国技士会連合会へ投稿した会員の技術論文の

紹介、優良工事表彰技術者の工事紹介論文、並びに県内で行われる技術研究発表会への応募技術論文等の紹介、また現場見学会参加者の感想等を掲載会員に配布している。発行部数各2,700部。

3. 行政庁との意見交換会

四国土木施工管理技士会において年1回、発注機関との意見交換会を実施。国土交通省四国地方整備局長ほか、県幹部が出席し各県技士会長等で意見交換を行っている。また当会技術委員会においては県と定期的に技術管理に関する検討会を継続している。

4. 調査研究

四国技士会連合会として監理技術者等にアンケート調査を実施し行政庁に要望事項の参考資料として添付している。

5. 表彰

(1) 全国技士会連合会会長表彰

連合会規程に基づき、優良工事従事者の会員受賞者、理事・監事・職員の該当者を表彰している。

(2) 高知県技士会会長表彰

当技士会規程に基づき、高知県優良工事施工者表彰「高知県知事賞」「優良賞」会員受賞者、役員の功績者の表彰を実施している。



23年度県内現場研修
（波介川河口導流事業護岸工事）

会長 古賀 義久

〒812-0044 福岡市博多区千代4-29-8 福岡県土木会館

TEL 092-632-7948 FAX 092-632-7950

当技士会は会員の技術力の向上と社会的地位の向上を目指し、かつ、建設工事を的確に施工するために、必要な専門知識及びその能力の取得に努め、公共の福祉に寄与することを目的として、講習会等の開催し活動しております。

活動の内容は以下のとおりです。

1 行政側との意見交換会議

毎年、土木施工管理技士会と福岡県県土整備部技監他数名と意見交換会議を実施しております。疲弊した現在の建設業の実態を説明して、今後の建設業のあり方や建設業の全般の問題点・地域貢献活動等について相互に協力要望をしております。

また、土木施工管理技士会の施工管理技術者と福岡県県土整備部企画交通課長他数名は、現場の施工上の問題点について意見交換会議を実施しております。特に、設計変更の考え方や工事書類の簡略化等要望しております。また、双務契約の考え方についても、相互理解を務め、適正に契約の

履行が出来るように、要望しております。今後ともお互いの立場を良く理解しながら、要望をしていきたいと思っております。

2 講習会

(1) 技士会各支部が主催する講習会

毎年県内10会場で定期的にCPDS講習会を実施している。

平成22年度はCPDS講習会を10回開催し、受講者は延べ800名であった。

(2) 国・県及び建設物価調査会等関係団体が主催する講習会

国・県及び建設物価調査会等関係団体が主催する講習会等を応援者の立場で協力し、会員に周知を図るとともに積極的に参加させている。

(3) 監理技術者講習会

全国土木施工管理技士会連合会が主催する「監理技術者講習会」「JCMセミナー」の設営・受付事務等を支援・協力している。平成22年度は3回開催（応援要員は3人）



博多山笠

会長 下村 敏明 事務局長 前山 利雄

〒840-0041 佐賀市城内二丁目2番地37号（佐賀県建設会館内）

TEL 代表 0952-23-3117 FAX 0952-24-9751

当技士会は平成4年4月に発足し、会員の相互の協力によって技士の品位と社会的地位の向上を目指し、また建設工事を的確に施工するため1676名が必要な専門知識及びその能力の取得に努めている。

1. 運営

三役会議、企画委員会において年間の事業内容及び予算を提案・議論して事業展開している。

2. 総会

毎年6月に総会を開催しているが、工事現場に関わる会員が多いため、総会后に社会情勢の変化を認識してもらうための講演会を実施している。

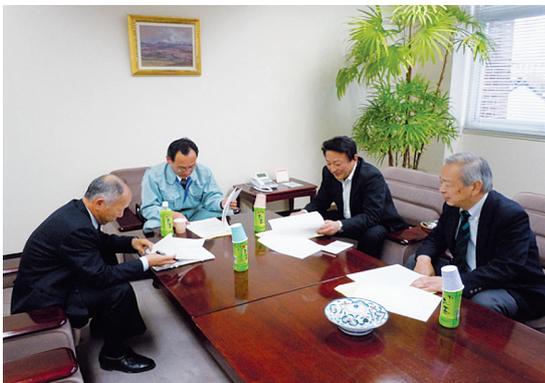
ちなみに、平成23年度は、クリエイト九州の川上理事長（元佐賀県副知事）より「今後の社会資本整備に求められるもの」について講演していただいた。

3. 事業展開

主な事業としては、スキルアップのための講習会及び研修会を実施しており、平成23年度は「技術交流フォーラム」と連携し、軟弱地盤における深層混合処理工法の設計の考え方や現場管理についての研修会を行い、さらに橋梁の老朽化調査に伴う補修工事での留意事項及び今後の事業展開について佐賀大学都市工学科の石橋教授から講義を受けた。

その外、総合評価・経営審査に関する講習会を実施するとともに、品質確保検討会（フォーラムの部会）において設計側と施工側の技術者の役割を模索している。

なお、支部においても別個に講習会等を開催しており、今般は「東日本大地震」の現地に赴いて、大規模災害への今後の対応と社会貢献への参画のあり方を学んできた。



三役会



講習会

設立 昭和56年12月4日

会長 根メ 眞悟 副会長 岩永 裕之・松井 將 事務局長 岩本 宗裕

会員数 2,018名 (2012年3月31日現在)

所在地 〒850-0874 長崎県長崎市魚の町3-33 長崎県建設総合会館3階

TEL 095-826-2285 FAX 095-826-2289

本会は、会員の技術力向上並びに資質の向上を図るため、それらの知識習得に必要な講習会等の実施、また、現場における就労環境改善のため、行政との意見交換会等を実施。加えて、会員の士気を高めるため、発注機関等より表彰（優秀現場代理人・優良工事（会社）等）を受けた者に対し表彰を行っている。

1. 行政との意見交換会

1) 書類簡素化に関する協議会

平成20年3月、長崎県土木部・(社)長崎県建設業協会・本会とで同協議会を発足。同時に実務者レベルでの協議を行うため、作業部会を設置。書類簡素化に向けて、簡素化実施にかかる問題点等についての協議を現在までに同作業部会において計8回実施。その結果、平成21年4月1日より、長崎県土木部において、「工事書類簡素化実施方針」を策定、共通仕様書の改訂、「工事提出書類一覧表」が作成され、運用開始となった。また、管理図作成作業の省力化並びに様式の統一化を図るため、長崎県土木部監修による「出来形管理図作成支援システム」を本会にて作成し、平成23年2月より、(社)長崎県建設業協会のホームページにて提供を開始（会員外も含む）した。

2) 県出先事務所と若手技術者との意見交換会

平成23年度は、12月・24年1月の2回：2出先事務所と実施。施工プロセスが求める判断基準・注意事項等について、工事の施工上に発生する問題点等について、討議形式で開催。発注者・受注者のお互いの意思疎通並びにコミュニケーションを図ると共に今後の現場管理で活用し、公共工事の品質や安全確保に役立てる事を目的に実施。

出席者長崎県：29名、本会所属会員：48名



県と若手技術者との意見交換会

2. CPDS技術講習会（本会主催）

- 1) 公共工事の検査及び施工管理基礎について
8～9月：県内6地区で開催、受講者436名
- 2) 1級土木施工管理技術検定（実地試験）受験準備講習会
9月に開催、受講者26名

3. 講演会

光学的計測法の建設工学分野への活用について

光学的計測手法を用いた、土木工学分野への適応可能性・応用性について、長崎大学工学部教授が講演。参加者175名。

4. 表彰

- 1) (社)全国土木施工管理技士会連合会会長表彰
- 2) 本会会長表彰
本会表彰規程の表彰基準を満たしている本会会員に対し実施。（国土交通省・長崎県知事表彰受賞者）

※平成23年度は、連合会会長（5名）・本会会長（15名）の計20名を表彰。

会長 坂本 猛 事務局長 古林 伸宏

〒862-0976 熊本県熊本市中央区九品寺4-6-4 熊本県建設会館2階

TEL 096-366-5111 FAX 096-363-1192

URL <http://www.kumaken.or.jp/dobokugishi/index.html>

当技士会は会員相互の協力によって、土木施工管理技士の品位と社会的地位の向上を目指し、かつ、建設工事を的確に施工するために必要な専門知識及びその能力の習得に努め、もって公共の福祉に寄与することを目的に活動しております。

活動の内容は以下のとおりです。

1. 表彰

(1) 全国土木施工管理技士会連合会会長表彰

毎年、全国技士会連合会表彰規程に基づく本会の役員、優良工事従事者に該当する会員を表彰している。なお、平成23年度受賞者は4人。

(2) 熊本県土木施工管理技士会会長表彰

当技士会表彰規程に定める表彰基準（公的機関等から表彰を受けた会員、永年功績のある役員等）に該当する会員を表彰している。
平成23年度受賞者は6人、7社。

2. 行政機関との意見交換会

(1) 九州地方整備局との意見交換会

毎年、九州技士会与九州地方整備局との意見交換を実施。平成22年度は、九州各県の会長と九地整企画部長ほか5人が出席、現場施工の諸問題等について意見を交換した。

(2) 熊本河川国道事務所、熊本県への要望

平成22年度より、九地整熊本河川国道事務所並びに熊本県土木部へ「現場技術者の声」と題し、現場で発生している諸問題について要望並びに意見交換を実施している。

3. 現場見学会

毎年、県内の代表的な建設現場の見学会を実施し、技術力の向上に努めている。平成23年度は、南九州西回り自動車道のトンネル工事、橋梁上部工工事、並びに九州横断道の橋梁下部工工事の現場を見学した。参加者は52人。

4. 講習会

(1) 技士会が主催する講習会

（社）熊本県建設業協会と共催でCPDS認定の技術研修会を実施している。平成23年度は、防災減災、コンクリートの維持管理、工事成績、品質確保、リサイクル等の講習会を実施し、1148人の参加があった。

(2) 関係団体実施の講習会

（一財）建設物価調査会等が主催する土木工事積算基準の改正、土木工事实行予算作成実務講習会等を後援し協力している。



総代会



現場見学会

会長 岡部 俊宏 事務局長 中村 孝廣
初代会長 井原 武夫 2代目会長 長尾 昭
〒870-0046 大分県大分市荷揚町4-28
TEL 097-536-4800 FAX 097-534-5828

当技士会は、正会員1,630名、賛助会員A35社、B321社で、平成4年5月1日に設立し、土木施工管理技士の技術力及び社会的評価の向上を図ることにより良質な社会資本の整備に貢献し、もって社会公共の福祉の向上に寄与することを目的とする。

1. 表彰

(1) (一社) 全国土木施工管理技士会連合会会長表彰
表彰規程に基づく会長表彰、役員表彰、優良工事従事者表彰に該当者を表彰している。

(2) 大分県土木施工管理技士会会長表彰

表彰規程に定める表彰基準（国・県の公共機関から表彰を受賞した工事の現場代理人等）に基づき、正会員に感謝状を贈呈している。

2. 行政側との意見交換会

（社）大分県建設業協会土木委員会と県との意見交換会に、本会技術委員が参加し、技術・行政施策等に対する改善・要望を行っている。

3. 講習会

(1) 本会が主催する講習会

CPDS講習会を実施している。

(2) 関係団体が実施する講習会

本会と共催又は後援となり、CPDに関する講習会を実施している。



事務所内



講習会

会長 竹尾 通洋 事務局長 東 康雄

〒880-0805 宮崎県宮崎市橋通東2丁目9番19号

TEL 0985-31-4696 FAX 0985-31-4697 URL <http://www.m-gishi.jp>

当技士会は会員の品位と社会的地位の向上を目指し、かつ、建設工事を的確に施工するために必要な専門知識並びにその能力の開発・習得に努め、もって公共の福祉に寄与することを目的とし、講習会等の開催に重点を置いて活動しております。

活動の内容は以下のとおりです。

1. 表彰

(1) 技士会連合会会長表彰

毎年、技士会連合会表彰規程に基づく各協会会長表彰、監事・理事表彰、優良工事従事者に該当する会員を表彰している。なお、平成23年度受賞者は8人。

2. 行政側との意見交換会

必要に応じて、土木施工管理技士会と行政との意見交換会を実施している。

平成20年度には現場で起こったさまざまな問題を取り上げ、国土交通省宮崎・延岡河川国道事務所、宮崎県の公共工事を所管する各部と協議を重ね、「土木工事質疑応答集」としてまとめ、発刊した。

平成23年度は、宮崎県県土整備部技術企画課とワンデーレスポンスや書類の簡素化について意見交換会を実施した。

また、各支部においても各土木事務所と支部の技術委員で工事検査やワンデーレスポンス等につ

いて意見交換会を実施した。

3. 講習会

(1) 技士会が主催する講習会

各地区の建設会館等を利用し、情報化施工や入札制度等の最近の建設業の話題についてCPDS認定の講習会を実施している。

また、宮崎県の職業訓練校の認定を受け、1、2級の土木施工管理技術検定試験受験準備講習会を5コース実施している。平成23年度の受講者は延べ109人であった。

各支部（11支部）においては、毎年7月から9月にかけて、土木事務所の幹部や工事検査専門員を講師として講習会を実施し、技術の研鑽に努めている。平成23年度の参加者は延べ約1,200人であった。

(2) 監理技術者講習会

平成16年度から技士会連合会が主催する「監理技術者講習会」の会場手配、設営、受付、講師の手配等、運営を実施している。平成23年度は5月、8月、11月、2月の4回開催した。

(3) その他の講習会

平成23年度は、宮崎県生コンクリート工業組合との共催で「コンクリート技術に関連する講習会」を建設6団体副産物対策物協会との共催で「建設廃棄物の適正処理に係る講習会」を実施した。



平成23年度表彰式



講習会風景



活動状況 鹿児島県土木施工管理技士会

会長 木山 裕継 事務局長 安藤 司
〒890-8512 鹿児島県鹿児島市鴨池新町6番10号
TEL 代表 099-257-9211 FAX 099-257-9214
URL <http://www.kakenkyo.or.jp>

本会は、会員相互の協力によって、土木施工管理技士の品位と社会的地位の向上を目指し、かつ、設工事を的確に施工するために必要な専門知識及びその能力の習得に努め、もって公共の福祉に寄与する事を目的とする。

* 講習会

① 技士会主催の講習会

平成23年度JCMセミナー「技術提案ワンポイントコース」を開催した。

② 毎年、鹿児島県・県建設業協会・技士会共催で、「建設技術者研修会」を県下18会場（受講者数2281名）で開催し、会員企業のより一層の技術の向上を図っている。

* 主たる内容（①土木工事の検査・監査概要について ②公共工事の品質確保について ③施工計画書の作成について ④建設業法令遵守について ⑤施工における留意点について ⑥鹿児島県のCALS/ECについて ⑦積算基準の改定について



事務所全景



建設技術者研修会

会長 福地 裕吉 事務局長 幸地 維章
〒901-2131 浦添市牧港5-6-8 (建設会館内)
TEL 098-876-5211 FAX 098-870-4565
URL: <http://www.okikenkyo.or.jp/gishikai.htm>

当技士会は、土木施工管理技士の品位と社会的地位の向上及び技術水準の向上発展に努め、もって会員の利益と公共の福祉に寄与することを目的とし、現場視察研修や発注者との意見交換会の開催を重点に活動しております。

活動の内容は以下の通りです。

1. 現場視察研修

毎年、新技術導入による代表的な土木工事現場の視察を実施しており、平成23年度は「名護東トンネル」、「億首ダム」を視察し、81名の会員が参加した。

2. 発注者との意見交換会

毎年、発注者との意見交換会を実施している。平成23年度は内閣府沖縄総合事務局との意見交換会を実施し、発注者側が11名、技士会から28名が参加して行われた。

3. 講演会

毎年、当技士会総会において関係行政庁に講師を依頼し、講演会を実施している。平成23年度は、「建設業における安全管理」、「公共工事の執行に係わる最近の動向」について講演会を開催し、250名の会員が参加した。

4. 講習会

毎年CPDSを対象とした講習会を実施している。平成23年度は3回開催し、延べ350名が受講した。また、国・県及び関係団体が主催する講習会へ会員に周知し、積極的に参加させている。

5. 表彰

当技士会表彰規程に定める基準により、該当する会員を毎年表彰している。平成23年度受賞者は5名。



技士会事務所



現場視察研修

会長 坂野 和彦 事務局長 武石 和夫

〒105-0003 東京都港区西新橋1-6-11

TEL 03-3507-5234 FAX 03-3507-5235

1. 概要

本会は土木施工管理技士の技術力および社会的地位の向上を図ることにより良質な社会資本の整備に貢献し、国民生活の向上に寄与することを目的に、積極的に活動しています。また『橋建技士会』という略称で会員相互の親睦を保っています。1996年（平成8年8月）に会員会社68社、会員数約4300名で創設されましたが社会環境の変化で現在は会員会社36社、会員数は約3500名です。会員会社でCPDS加入者は約3050名、一級土木管理技士約5500名、技術士約650名を抱える技術集団でもあります。

2. 組織構成

理事14名、監事2名、評議員16名で企画立案した議案に基づき、会長 坂野和彦（全国土木施工管理技士会連合会理事）、副会長 徳山貴信（同

技術委員）、副会長 入部孝夫、企画広報委員長 小林雄紀（同企画運営委員）、副委員長 佐々木利光、教育安全委員長 駒井寛（同編集委員）、副委員長 中村善彦、事務局長 武石和夫、部長 寺西功等が執行運営しています。

3. 主な年間活動（写真でも掲示）

- ①一級土木施工管理技士受験講習会；4月（大阪会場）、5月（東京会場）会員会社より自前講師で講義
- ②橋建技士会通常総会；6月（東京）、③安全研修会（橋建協共催）；6月（東京）、
- ④『橋建技士会だより』の発刊；10月
- ⑤橋梁現場研修会；11月（全国で注目する鋼橋架設現場で研修）、
- ⑥若手技術者の鋼橋技術講習会；2月（東京）、



①一級土木施工管理技士受験講習会（33名）



②橋建技士会通常総会（6月会場：東京36社）



⑤橋梁現場研修会（11月第2音戸大橋35名）



⑥若手技術者の鋼橋技術講習会（2月会場：東京60名）

会長 加藤 敏行 専務理事 須本 重徳
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-4-5
茅場町2丁目ビル 3階
TEL 03-6231-1910 FAX 03-3662-3317

当技士会は会員の品性と社会的地位の向上を目指し、橋梁塗装及び鋼構造物塗装を的確に施工するために必要な専門知識及びその資格等の取得に努め、もって技術力の維持向上、社会的地位の向上等を図ることを目的とし、講習会等の開催に重点を置いて活動しております。

講演会

毎年5月に当技士会等で新技術や新材料等の調査、研究の成果を発表する「技術発表大会」を開催しています。

講習会

(1) 各地区の実情に即したテーマによる「技術講習会」を開催しています。

それ以外にも必要に応じて随時講習会を実施しています。

- (2) 毎年9月中旬から10月初旬に、東京・大阪・福岡の3会場で「2級土木施工管理技術検定(鋼構造物塗装)」受験予定者を対象に受験準備講習会を開催しています。
- (3) 高塗着スプレー塗装工事に要求される専門的な知識と安全性等の施工管理能力を有する「高塗着スプレー塗装施工管理技術者」認定試験・講習、「高塗着スプレー塗装技能士」講習の開催を通じて技術者及び技能者の養成を行っています。



高塗着スプレー塗装講習会

会長 伊達 徹 常務理事（事務局長） 木川 勝

〒111-0053 東京都台東区浅草橋5-10-12菊島ビル浅草橋4階

TEL 03-5833-8017 FAX 03-5833-8018 <http://www.ecma.jp/>

当技士会は連合会傘下の全国組織として平成19年度に設立・加盟を致しました。会員は発注者支援業務に従事する技術者を中心に会員相互の協力によって、土木施工管理技術に関する情報の交換、技術研修・研鑽と社会的地位の向上及び優秀な技術者の確保・育成により社会的評価の向上に努め国民生活の向上に寄与することを目的として活動しているところです。

活動内容は以下のとおりです。

1. 講習会活動

講習会は全国8地区（盛岡・仙台・東京・名古屋・大坂・岡山・福岡・鹿児島）で年2回開催し、発注者支援業務技術者、建設従事技術者及び地方自治体職員等の技術者の皆様が年に延べ1,300名程度の方に受講いただいています。

平成24年度は「液状化のメカニズムとその対策」と「舗装の歴史と舗装の技術」をテーマとした5時間のカリキュラムを考えています。

受講者には継続教育（CPD）のユニットの付与を対象にしていますので、多くの皆様の参加を歓迎しています。



ECMAスキルアップ講習会開催状況

2. 行政機関との意見交換

発注者支援業務等は、公的職員が行う業務を補助する立場にあることから、機密保持をはじめ公的職員と同等な人間力や幅広い土木施工管理技術を保持し業務にあたる必要があります。従って、業務の課題や契約上の課題について発注者側と綿密な意見交換を行い、国民のために品質の高い公共構造物の構築に努力しているところであります。

意見交換は発注者側の協力のもとに本省及び地方整備局と行っています。様々な課題について意見交換をすることにより業務の品質確保・効率化等を含め、双方の改善を図る努力を行っているところです。

3. 表彰（企画委員会の活動）

技術論文等の募集事業は現場に働く技術者の技術の向上や新しい資格取得への技術力を高める一助にもなり、その結果として会長表彰やCPDSユニットの加算でもあります。当技士会として企画委員会活動を強化してこの表彰制度の質を高め全ての技術者の技術力向上のために、連合会の表彰制度の活性化に協力して行くこととしたいと考えています。

4. 東日本大震災への支援

当技士会では東日本大震災の復興にご尽力されている被災県の皆様の再生と発展のため、技士会の支援策として復興のための技術者不足に対して、良質の技術力を兼ね備えた技術者で支援することを被災県に申し入れ等の要望活動を行い、被災県から当技士会等に技術者支援の要請をいただいているところであります。



資料編

1 技術検定の実施について

土木施工管理技術検定は、建設業法第27条に基づき、土木工事に従事する施工管理技術者の技術の向上、技術水準の確保を図ることを目的とした国家試験で、同法第27条の2に基づく国土交通大臣指定試験機関が実施するものです。

建設業法の目的は、建設業を営む者の資質の向上、建設工事の請負契約の適正化を図ることによって、建設工事の適正な施工を確保し、発注者を保護するとともに建設業の健全な発展を促進し、もって公共の福祉の増進に寄与することであり、その目的達成の一環として、建設工事に従事する者を対象にして技術検定を行い、施工技術の向上を図ることとされています。

2 施工管理技士とは

技術検定の合格者は施工管理技士の称号を称することができます。

また、一定水準以上の施工技術を有することを公的に認定された方となりますから、建設業法の中で以下のような措置が取られています。

- ・ 施工管理技士は、検定の種目及び級に応じて建設業法に規定する許可の要件としての営業所に置かれる専任技術者及び工事現場に置かれる主任技術者又は監理技術者の資格を満たす者として取り扱われます。
- ・ 経営事項審査において、1級施工管理技士は5点、2級施工管理技士は2点として評価されます。

3 土木施工管理技士

3.1 1級土木施工管理技士

1級土木施工管理技術検定は、学科試験及び実地試験によって行なわれ、この学科試験に合格すれば実地試験の受験資格が得られ、この実地試験合格者は、所定の手続きを行なうことによって、国土交通大臣から技術検定合格証明書が交付され、「1級土木施工管理技士」と称することができます。

1級土木施工管理技士は、建設業法に定められた土木工事関係8業種の許可に際して営業所ごとに置かなければならない専任技術者並びに工事現場ごとに置かなければならない主任技術者又は監理技術者となることが認められています。また、特定建設業に係る土木工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業（指定建設業）については、国土交通大臣が定める国家資格を有する者として、営業所の専任技術者及び工事現場の監理技術者となることが認められています。

3.2 2級土木施工管理技士

2級土木施工管理技術検定は、「土木」「鋼構造物塗装」「薬液注入」の3種別に分けて実施され、学科試験及び実地試験によって行なわれます。

この学科及び実地試験に合格し、所定の手続きを行なうことによって、国土交通大臣から技術検定合格証明書が交付され、「2級土木施工管理技士」と称することができます。

なお、「2級土木施工管理技士」は、建設業法に定められた一般建設業の許可要件である営業所における「専任技術者」及び工事現場における「主任技術者」となることが認められています。

(名称)

第1条

この法人は、一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会（以下「本会」という。）と称する。

(目的)

第3条

本会は、土木施工管理技士の技術力及び社会的地位の向上、施工及び施工管理の技術等の発展、工事の安全・品質及び効率の向上を図ることにより、良質な社会資本の整備に貢献し、もって国民生活の向上に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条

本会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 土木施工管理技士の技術力及び社会的地位の向上
 - (2) 土木施工管理技士に関する制度の普及、表彰、情報収集及び調査研究
 - (3) 施工と施工管理の技術等に関する継続学習制度の運営、講習会の実施及び図書の刊行
 - (4) 工事の安全・品質及び効率の向上に関する調査研究
 - (5) 前1号から4号に関する、発注者との意見交換、施策の提言、業務の受託、国際交流、及び第5条の正会員である土木施工管理技士会の活動の促進
 - (6) その他本会の目的を達成するために必要な事業
- 2 前項の事業は、本邦及び海外において行うものとする。

(法人の構成員)

第5条

本会に次の会員を置く。

(1) 正会員

主に土木施工管理技士をもって組織する定款を有する土木施工管理技士会で本会の目的及び事業に賛同して入会したもの

(2) 賛助会員

本会の事業を賛助するために入会したもの

- 2 前項の会員のうち正会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法人法」という。）上の社員とする。

(一社) 全国土木施工管理技士会連合会 年表

年	全国土木施工管理技士会連合会	土木施工管理技士会	土木施工管理技士	世の中の出来事
昭和44年 (1969)			11. 30 1級土木施工管理技術検定学科試験開始	1. 18 東大安田講堂事件
昭和45年 (1970)			2. 8 1級土木施工管理技術検定実地試験開始 3. 31 土木施工管理技士検定試験合格 1級8,263人 8. 30 2級土木施工管理技術検定学科・実地試験開始	3. 14 大阪で日本万国博覧会EXPO'70開催 3. 31 日本航空よど号ハイジャック事件 11. 25 三島由紀夫、自衛隊にクーデターを扇動し自殺
昭和46年 (1971)	土木施工管理技士会設立の準備打合せ会開催(建設省、都道府県、業会団体代表)		3. 31 土木施工管理技士検定試験合格 1級5,158人 2級125,695人 計130,853人 累計139,116人	3. 26 福島原子力発電所運転開始
昭和47年 (1972)	4. 建設省関東地方建設局にあった「土木施工管理技術研究会」(関東建設弘済会が事務局)が名称と業務をそのまま引き継ぎ(助)全国建設研修センターの附属機関として設置された		3. 31 土木施工管理技士検定試験合格 1級4,649人 2級91,892人 計96,541人 累計235,657人	2. 3 札幌オリンピック 2. 19 連合赤軍のあさま山荘事件 5. 15 沖縄県復帰
昭和48年 (1973)			3. 31 土木施工管理技士検定試験合格 1級4,451人 2級9,579人 計14,030人 累計249,687人	10. 23 第一次オイルショック 8. 8 金大中事件
昭和49年 (1974)	4. 「土木技術者(有資格者)のための資料頒布会」を創設(会員4,500名)事務局は(助)全国建設研修センター内「土木施工管理技術研究会」に置き、後の土木施工管理技士会の母体となる 5. 31 「土木技術者(有資格者)のための資料頒布会」より季刊誌「建設情報」第1号が発刊される		3. 31 土木施工管理技士検定試験合格 1級6,364人 2級9,156人 計15,520人 累計265,207人	
昭和50年 (1975)			3. 31 土木施工管理技士検定試験合格 1級9,764人 2級22,193人 計31,957人 累計297,164人	4. 30 ベトナム戦争終戦
昭和51年 (1976)	6. 22 全国最初の技士会誕生(静岡県土木施工管理技士会設立)	6. 22 静岡県土木施工管理技士会設立	3. 31 土木施工管理技士検定試験合格 1級14,850人 2級22,891人 計37,741人 累計334,905人	7. 27 ロッキード事件で田中前首相逮捕される
昭和52年 (1977)	4. 「土木技術者のための資料頒布会」が、「土木施工管理技士会」と改称 同時に事務局が(助)全国建設研修センター内から、(助)地域開発研究所へ移る 8. 1 土木施工管理技士会会報PR号発刊 9. 1 土木施工管理技士会会報第1号発刊	5. 19 和歌山県土木施工管理技士会設立 10. 29 長崎県大村市土木施工管理技士会設立	3. 31 土木施工管理技士検定試験合格 1級13,252人 2級21,988人 計35,240人 累計370,145人	

年	全国土木施工管理技士会連合会	土木施工管理技士会	土木施工管理技士	世の中の出来事
昭和53年 (1978)	1. 1 土木施工管理技士会会報を「土木施工管理技士情報」と改名(第5号) 4. 土木施工管理技士会全国協議会の第1回協議会を開催し、「(社)土木施工管理技士会(仮称)」発足へ向け合意	9. 22 兵庫県土木施工管理技士会設立	3. 31 土木施工管理技士検定試験合格 1 級11,042人 2 級19,890人 計30,932人 累計401,077人	
昭和54年 (1979)	1. 19 「土木施工管理技士会全国連絡協議会」の組織を従来の土木施工管理技士会、4つの地方技士会、及び以後設立される技士会から構成されることを決定 「全国連絡協議会」と「中央部会」の事務局を千代田区飯田橋3-11-13に置いた 6. 10 「土木施工管理技士会全国連絡協議会運営委員会」で協議会の役員を選出	4. 1 「土木施工管理技士会」改め「土木施工管理技士会中央部会」として新たに発足	3. 31 土木施工管理技士検定試験合格 1 級10,115人 2 級25,340人 計35,455人 累計436,532人	1. 17 第二次オイルショック
昭和55年 (1980)	6. 1 「土木施工管理技士会全国連絡協議会」が「全国土木施工管理技士会」に改称 8. 29 全国土木施工管理技士会の役員が運営委員会で指名される	3. 25 北海道土木施工管理技士会設立 4. 11 高知県土木施工管理技士会設立 6. 1 「土木施工管理技士会中央部会」は「全国土木施工管理技士会中央部会」に名称を変更し「全国土木施工管理技士会」に加入	3. 31 土木施工管理技士検定試験合格 1 級8,346人 2 級24,976人 計33,322人 累計469,854人	9. 22 イラン・イラク戦争勃発
昭和56年 (1981)	1. 「土木施工管理技士会全国連絡協議会」と「全国土木施工管理技士会中央部会」の事務局を新宿区市ヶ谷砂土原町へ移転	5. 18 愛媛県土木施工管理技士会設立 9. 16 徳島県土木施工管理技士会設立 12. 4 「長崎県大村市土木施工管理技士会」は発展的に改称され、「長崎県土木施工管理技士会」として発足	3. 31 土木施工管理技士検定試験合格 1 級10,897人 2 級30,084人 計40,981人 累計51,835人	
昭和57年 (1982)		8. 10 沖縄県土木施工管理技士会設立 9. 20 青森県土木施工管理技士会設立	3. 31 土木施工管理技士検定試験合格 1 級13,096人 2 級34,258人 計47,354人 累計558,189人	2. 9 日航羽田沖墜落事故
昭和58年 (1983)		11. 30 三重県土木施工管理技士会設立	3. 31 土木施工管理技士検定試験合格 1 級15,194人 2 級35,094人 計50,288人 累計608,477人	5. 26 日本海中部地震
昭和59年 (1984)		1. 28 香川県土木施工管理技士会設立	3. 31 土木施工管理技士検定試験合格 1 級19,508人 2 級39,096人 計58,604人 累計667,081人 7. 15 2級土木施工管理技術検定学科・実地試験が土木、塗装、薬注の3種別となる	

(一社) 全国土木施工管理技士会連合会 年表

年	全国土木施工管理技士会連合会	土木施工管理技士会	土木施工管理技士	世の中の出来事
昭和60年 (1985)		5. 15 栃木県土木 施工管理技士会設立 12. 9 長野県土木 施工管理技士会設立	3. 31 土木施工管理技 士検定試験合格 1級13,260人2級(塗装・ 薬注含む)37,715人計 50,975人累計718,056人	8. 12 日航ジャンボ 機御巣鷹山墜落事故
昭和61年 (1986)		4. 1 「全国土木施 工管理技士会中央部 会」が「土木施工管 理技士中央部会」と 改称 5. 12 鳥取県土木 施工管理技士会設立 5. 25 (社) 岩手 県土木施工管理技士 会設立 11. 29 茨城県土木 施工管理技士会設立	3. 31 土木施工管理技 士検定試験合格 1級10,067人2級(塗装・ 薬注含む)29,890人計 39,957人累計758,013人	4. 26 チェルノブイ リ原発事故
昭和62年 (1987)		1. 23 埼玉県土木 施工管理技士会設立	3. 31 土木施工管理技 士検定試験合格 1級7,992人2級(塗装・ 薬注含む)29,939人計 37,931人累計795,944人 6. 建設業法改正 特定 建設業許可基準の改正 (指定建設業導入)	4. 1 国鉄分割民営 化(JRグループ発足)
昭和63年 (1988)			3. 31 土木施工管理技 士検定試験合格 1級8,960人2級(塗装・ 薬注含む)28,513人計 37,473人累計833,417人	7. 20 イラン・イラ ク戦争停戦
平成元年 (1989)			3. 31 土木施工管理技 士検定試験合格 1級19,051人2級(塗 装・薬注含む)36,579人 計55,630人累計889,047人	1. 7 昭和天皇崩御 6. 4 天安門事件 11. 10 ベルリンの壁 崩壊 4. 1 消費税が導入 される(3%)
平成2年 (1990)		3. 15 新潟県土木 施工管理技士会設立 6. 26 石川県土木 施工管理技士会設立	3. 31 土木施工管理技 士検定試験合格 1級37,960人2級(塗装・ 薬注含む)38,198人計 76,158人累計965,205人	
平成3年 (1991)		2. 14 山口県土木 施工管理技士会設立 4. 16 島根県土木 施工管理技士会設立 6. 29 宮城県土木 施工管理技士会設立 7. 18 富山県土木 施工管理技士会設立 12. 5 岡山県土木 施工管理技士会設立	3. 31 土木施工管理技 士検定試験合格 1級35,727人2級(塗装・ 薬注含む)34,567人計 70,294人累計1,035,499人	1. 17 湾岸戦争勃発 12. 21 ソ連崩壊

年	全国土木施工管理技士会連合会	土木施工管理技士会	土木施工管理技士	世の中の出来事
平成4年 (1992)	<p>2. 27 (社)全国土木施工管理技士会連合会(全国技士会)設立、事務所を港区東麻布に構える</p> <p>4. 15 機関誌「JCMマンスリーレポート」創刊号発刊</p> <p>5. 25 法人化後第1回理事会・総会開催</p> <p>6. 19 韓国建設技術人協会会長来訪</p> <p>6. 25 設立披露祝賀会</p> <p>7. 22土木施工管理技術研修用テキスト編集委員会設置</p> <p>7. 31 法人化後第1回事務局長(事務担当者)会議開催</p> <p>8. 6 土木施工管理技術研修用テキスト改訂ワーキンググループ設置</p> <p>11. 24 全国技士会講習会「通年施工化技術講習会」を東日本10会場で開催以降各年で技術講習会を全国で開催</p>	<p>1. 14 鹿児島県土木施工管理技士会設立</p> <p>3. 3 岐阜県土木施工管理技士会設立</p> <p>3. 31 (社)滋賀県土木施工管理技士会設立</p> <p>4. 8 福島県土木施工管理技士会設立</p> <p>4. 9 広島県土木施工管理技士会設立</p> <p>4. 23 愛知県土木施工管理技士会設立</p> <p>4. 30 佐賀県土木施工管理技士会設立</p> <p>5. 1 大分県土木施工管理技士会設立</p> <p>6. 17 宮崎県土木施工管理技士会設立</p> <p>7. 1 京都府土木施工管理技士会設立</p> <p>7. 20 秋田県土木施工管理技士会設立</p> <p>10. 7 熊本県土木施工管理技士会設立</p> <p>10. 20 福岡県土木施工管理技士会設立</p>	<p>3. 31 土木施工管理技士検定試験合格 1級16,723人2級(塗装・薬注含む)27,763人計44,486人累計1,07,985人</p>	<p>9. 17 PKOによる自衛隊第一陣のカンボジア派遣</p>
平成5年 (1993)	<p>4. 21指定建設業監理技術者講習会(土木コース)への協賛及び受託業務開始</p> <p>6. 要望書を建設省に提出</p>	<p>1. 22 群馬県土木施工管理技士会設立</p> <p>8. 5 山形県土木施工管理技士会設立</p>	<p>3. 31 土木施工管理技士検定試験合格 1級11,325人2級(塗装・薬注含む)25,927人計37,252人累計1,117,237人</p>	<p>6. 9 皇太子御成婚</p> <p>7. 12 北海道南西沖地震</p>
平成6年 (1994)	<p>9. 土木施工管理技士の実態調査まとまる</p> <p>12. 9 全国技士会は事務所を千代田区九段南4-8-30アルス市ヶ谷ビル3階(現住所)に移転</p>	<p>6. 21 山梨県土木施工管理技士会設立</p> <p>7. 18 神奈川県土木施工管理技士会設立</p>	<p>3. 31 土木施工管理技士検定試験合格 1級9,781人2級(塗装・薬注含む)29,126人計38,907人累計1,156,144人</p> <p>6. 建設業法改正 監理技術者の専任制の徹底、講習義務</p>	
平成7年 (1995)	<p>4. 19 監理技術者講習会の受託業務開始 講習が奈良会場を皮切りに始まる</p>	<p>7. 4 千葉県土木施工管理技士会設立</p> <p>12. 8 奈良県土木施工管理技士会設立</p>	<p>3. 31 土木施工管理技士検定試験合格 1級14,490人2級(塗装・薬注含む)27,659人計42,149人累計1,198,293人</p>	<p>1. 17 阪神・淡路大震災</p> <p>3. 20 東京都心部で地下鉄サリン事件</p>
平成8年 (1996)	<p>3. 29 暫定会費制度の制定</p> <p>7. 15 企画運営委員会、技術委員会、編集委員会を設置</p> <p>12. 2 初代会長増岡康治氏急逝</p>	<p>5. 28 東京土木施工管理技士会設立</p> <p>8. 27 日本橋梁建設土木施工管理技士会設立</p>	<p>3. 31 土木施工管理技士検定試験合格 1級13,437人2級(塗装・薬注含む)36,874人計50,311人累計1,248,604人</p>	

(一社) 全国土木施工管理技士会連合会 年表

年	全国土木施工管理技士会連合会	土木施工管理技士会	土木施工管理技士	世の中の出来事
平成9年 (1997)	3. 25 「土木施工管理技士会倫理綱領」の制定 5. 14 技術論文表彰制度の制定 5. 14 技術論文審査委員会 5. 27 入会基準を定める 7. 10 ホームページ開設 7. 17 技術論文表彰式開催 以降毎年開催 10. 29 表彰制度の創設		3. 31 土木施工管理技士検定試験合格 1級21064人2級(塗装・薬注含む)39873人計60937人累計1,309,541人	12. 11 地球温暖化防止第3回締約国会議COP3京都議定書を採択
平成10年 (1998)	5. 26 暫定会費制度の制定 5. 26 表彰制度の制定 7. 16 優良工事従事者の表彰 12. 8 関係省庁に要望活動を行う以降毎年実施		3. 31 土木施工管理技士検定試験合格 1級21,641人2級(塗装・薬注含む)46,032人計67,673人累計1,377,214人	2. 7 長野冬季オリンピック開催
平成11年 (1999)	3. 24 優良技士会功労役員等の表彰 7. 12 建設大臣優良団体表彰受賞 7. 13 正式会費制度の制定		3. 31 土木施工管理技士検定試験合格 1級18,970人2級(塗装・薬注含む)39,777人計58,747人累計1,435,961人	
平成12年 (2000)	3. 14 「継続的専門能力啓発システム(土木施工管理/CPDS)」の導入を決定 3. 14 「CPDS基金」を新設 4. 1 「建設工事事故情報分析(SAS)」のデータベース開設 5. 19 「公益法人指導監督基準」に沿って定款を改定し、理事数の変更を行う 7. 18 土木施工管理技士誕生30周年記念式典開催 8. 11 CPDS登録システムの稼働開始 8. 23 CPDS指定技術講習会開催以降各年でCPDS指定技術講習会を全国で開催 9. 24 CPD等調査団米国派遣 10. 10 JCM公認講師制度の制定 10. 15 CPD等調査団英国派遣		3. 31 土木施工管理技士検定試験合格 1級23,896人2級(塗装・薬注含む)49,959人計73,855人累計1,509,816人	3. 28 北海道の有珠山噴火 7. 21 九州・沖縄サミット開催
平成13年 (2001)	12. CPDS指定技術講習用テキスト4分冊を新規発行	5. 17 日本塗装土木施工管理技士会設立	3. 31 土木施工管理技士検定試験合格 1級25,312人2級(塗装・薬注含む)45,610人計70,922人累計1,580,738人	9. 11 アメリカの同時多発テロ発生 2. 10 えひめ丸、ハワイ沖で潜水艦と衝突沈没
平成14年 (2002)	1. 16 海外調査団の受入れ(中国) 3. 22 継続教育に関する海外調査団を受入れ(韓国) 7. 23 設立10周年記念式典開催	3. 28 福井県土木施工管理技士会設立	3. 31 土木施工管理技士検定試験合格 1級27,348人2級(塗装・薬注含む)40,226人	
平成15年 (2003)	7.25 建設系CPD協議会が設立され、創設時加盟団体となる 11. 第1回土木施工管理技士に関するアンケートの実施 以降3年毎に実施		3. 31 (14年度)土木施工管理技士検定試験合格 1級29,238人2級(塗装・薬注含む)28,065人 2級研修受講資格の改正(35歳以上)14年度は研修による2級合格の最終年度	3. 20 イラク戦争勃発

年	全国土木施工管理技士会連合会	土木施工管理技士会	土木施工管理技士	世の中の出来事
平成16年 (2004)	7. 30 国土交通大臣から監理技術者講習実施機関の登録証交付(国土交通大臣登録番号第5号)監理技術者講習開始JCM公認講師制度を監理技術者講習講師登録と統合 11. 25 従来の要望活動に替え国土交通省との意見交換会を実施する以降各年で実施		3. 31 (15年度) 土木施工管理技士検定試験合格1級28,780人2級(塗装・薬注含む) 16,983人	
平成17年 (2005)			3. 31 (16年度) 土木施工管理技士検定試験合格1級18,174人2級(塗装・薬注含む) 13,134人	
平成18年 (2006)	4. 技士会ブロックと地方整備局長等との意見交換会を実施する以降全てのブロックで各年で実施 7. CPDS指定技術講習会をJCMセミナーに名称変更		3. 31 (17年度) 土木施工管理技士検定試験合格1級19,379人2級(塗装・薬注含む) 15,639人	
平成19年 (2007)		3. 6 現場技術土木施工管理技士会設立	3. 31 (18年度) 土木施工管理技士検定試験合格1級10,667人2級(塗装・薬注含む) 6,931人	
平成20年 (2008)	4. 建設系CPD協議会事務局業務受託(H20,21年) 10. 12 現場改善等調査団米国派遣		3. 31 (19年度) 土木施工管理技士検定試験合格1級12,899人2級(塗装・薬注含む) 10,833人	9. 15 リーマンショック
平成21年 (2009)	12. 14 実務担当者会議開催		3. 31 (20年度) 土木施工管理技士検定試験合格1級9,743人2級(塗装・薬注含む) 8,759人	
平成22年 (2010)	8. 6 CPDSを商標登録 12. 電子書籍販売開始	土木施工管理技士中央部会はその役目を終えて定款の規定により会員資格を喪失	3. 31 (21年度) 土木施工管理技士検定試験合格1級6,544人2級(塗装・薬注含む) 6,928人	6. 13 小惑星探査機はやぶさ帰還 8. 31 イラク戦争終結 12. 17 ジャスミン革命
平成23年 (2011)	1. 6 現場改善等調査団欧州派遣 5. 施策提言委員会設置 5. 国際技術者委員会設置 6. JCM DVDセミナー開催 8. 25 東北大震災視察(岩手県) 10. JCM 特別セミナー開催	2. 15 大阪府土木施工管理技士会設立 7. 1 大阪府土木施工管理技士会が全国技士会に入会し、これで全都道府県の技士会が全国技士会に加入した	3. 31 (22年度) 土木施工管理技士検定試験合格1級5,720人2級(塗装・薬注含む) 7,957人	3. 11 東北地方太平洋沖地震 福島第一原子力発電所事故発生
平成24年 (2012)	4. 公益法人制度改革により全国技士会は法人格を一般社団法人へ変更する 5. 28 設立20周年記念式典開催 6. 17 どぼく検定開始 8. 7 東北大震災視察(宮城県) 9. 8 現場改善のためのリーコンストラクション会議発表(北欧)		3. 31 (23年度) 土木施工管理技士検定試験合格1級5,544人2級(塗装・薬注含む) 6,597人	5. 22 東京スカイツリー開業

(一社) 全国土木施工管理技士会連合会 歴代役員一覧

氏名	職名	所属	平成4年 (1992)	平成5年 (1993)	平成6年 (1994)	平成7年 (1995)	平成8年 (1996)	平成9年 (1997)	平成10年 (1998)	平成11年 (1999)
増岡 康治	会長	参議院議員	2/27 5/25	—————		5/30	—————		5/31 12/2	
長尾 満	会長	日本建設機械化協会会長						3/25	—————	
本山 蒔	会長	川崎製鉄顧問					5/31	—————		
豊田 高司	会長	国土技術研究センター 理事長								
小林 康昭	会長	足利工業大学工学部教授								
阿川 孝行	理事	全国建設研修センター 副理事長	2/27 5/25 8/11							
玉光 弘明	理事	全国建設研修センター 副理事長		3/5	—————		5/30	—————		5/31 3/24
佐藤 清	副会長	全国建設研修センター 副理事長								4/5
紀陸 富信	副会長	全国建設研修センター 副理事長								
森 淳	理事	地域開発研究所常務理事	2/27 5/25	—————		5/30	—————		5/31	
玉田 博亮	理事	日本建設情報総合セン ター理事長								
山村 和也	理事	日本大学生産工学部教授								
小野和日児	理事	建設物価調査会理事長								
和里田義雄	理事	経済調査会理事長								
清宮 理	理事	早稲田大学理工学部教授								
山田 俊郎	副会長	五洋建設執行役員副社長								
内海 健一	理事	全国技士会		5/26	—————		5/30	—————		5/31
古川 恒雄	専務理事	全国技士会					5/31			5/31
尾作 悦男	専務理事	全国技士会								
猪熊 明	専務理事	全国技士会								
上田 俊一	副会長	北海道技士会会長	2/27 5/25	—————		5/26				
倉橋 力雄	副会長	北海道技士会会長		5/26	—————		5/30	—————		5/31
宮脇 敬	監事	北海道技士会副会長								
眞田 眞	副会長	北海道技士会会長								

会長 
 副会長 
 専務理事 
 理事 
 監事 

平成12年 (2000)	平成13年 (2001)	平成14年 (2002)	平成15年 (2003)	平成16年 (2004)	平成17年 (2005)	平成18年 (2006)	平成19年 (2007)	平成20年 (2008)	平成21年 (2009)	平成22年 (2010)	平成23年 (2011)	平成24年 (2012)
5/30												
5/31		5/31	3/31	5/30								
5/31	1/4	3/15 5/31	4/1	5/31		5/31	6/18					
								5/31		5/31		5/28
5/31		5/31		5/31	5/31							
						5/31	5/31	6/19 (会長代行)	5/30			
5/31		5/31 12/27										
	3/31	5/31		5/31	5/31	5/31	5/30					
			3/18	5/31	5/31	5/31	5/31	5/31	5/31	5/31		5/28
				5/31	5/31	5/31	5/31	5/31	5/31	5/31		5/28
								5/31		5/31		5/28
								5/31		5/31		5/28
5/31		5/30										
		5/31		5/30								
				5/31		5/31		5/31		5/31		5/28
5/30												
5/31		5/30										
				5/31		5/30						

※平成24年度は、定款変更により就(退)任日は総会の日とする。

(一社) 全国土木施工管理技士会連合会 歴代役員一覧

氏名	職名	所属	平成4年 (1992)	平成5年 (1993)	平成6年 (1994)	平成7年 (1995)	平成8年 (1996)	平成9年 (1997)	平成10年 (1998)	平成11年 (1999)
熊谷 勝弘	副会長	北海道技士会会長								
脇川 利勝	副会長	青森県技士会会長	2/27 5/25		5/30		5/31		5/31	
小野寺希夫	理事	岩手県技士会会長	2/27 5/25 9/21							
望月 茂	理事	岩手県技士会会長		3/5	5/30		5/31		5/31	
若生 金郎	理事	宮城県技士会会長	2/27 5/25							
奥田 和男	理事	宮城県技士会会長	5/25		5/30		5/31		5/31	
酢屋 潔	理事	秋田県技士会会長							5/31	
志賀久太郎	理事	福島県技士会会長			5/30		1/28			
三瓶 英才	副会長	福島県技士会会長								
武藤 彬	副会長	茨城県技士会会長	2/27 5/25		5/30		5/31		3/7	
高内 壮介	理事	栃木県技士会会長	2/27 5/25		5/30		5/31	12/31		
池原 透	理事	群馬県技士会会長							5/31	
廣田 豊作	理事	埼玉県技士会会長	2/27 5/25							
島崎 敬一	理事	埼玉県技士会会長	5/25		5/30		5/31		5/31	
松本 泰典	副会長	埼玉県技士会会長								
松本 憲典	副会長	千葉県技士会会長								
米本 利雄	副会長	千葉県技士会会長								
松尾助右衛門	副会長	神奈川県技士会会長								
本間 茂	理事	新潟県技士会会長	2/27 5/25		5/30		5/31			
植木 馨	理事	新潟県技士会会長					5/31		5/31	3/24
松山 鶴吉	理事	新潟県技士会会長								4/7
井上平一郎	監事	新潟県技士会会長								
秋藤 義治	監事	富山県技士会会長	2/27		5/30		5/31			
藤川 猛	副会長	富山県技士会会長								

会長 
 副会長 
 専務理事 
 理事 
 監事 

平成12年 (2000)	平成13年 (2001)	平成14年 (2002)	平成15年 (2003)	平成16年 (2004)	平成17年 (2005)	平成18年 (2006)	平成19年 (2007)	平成20年 (2008)	平成21年 (2009)	平成22年 (2010)	平成23年 (2011)	平成24年 (2012)
										5/31		5/28
5/31		5/31		5/30		5/31		5/30				
5/30												
5/30												
								5/31		5/31		
5/30												
												5/28
		5/31	1/27									
			3/18	5/30								
7/18		5/30										
5/30												
		5/31		5/30								
						5/31		5/30				

※平成24年度は、定款変更により就(退)任日は総会の日とする。

(一社) 全国土木施工管理技士会連合会 歴代役員一覧

氏名	職名	所属	平成4年 (1992)	平成5年 (1993)	平成6年 (1994)	平成7年 (1995)	平成8年 (1996)	平成9年 (1997)	平成10年 (1998)	平成11年 (1999)
鶴山 務	理事	石川県技士会会長	2/27 5/25		5/30		5/31		5/31	
桑原 隆	副会長	山梨県技士会会長							5/31	
依田 一志	副会長	山梨県技士会会長								
山浦 和人	理事	長野県技士会会長	2/27 5/25		5/30					
林 博	副会長	長野県技士会会長								
市川 幸一	理事	岐阜県技士会会長					5/31		5/31	
苅谷 二郎	理事	岐阜県技士会会長							5/31	7/13
正田 武夫	理事	岐阜県技士会会長								7/13
前田 守廣	副会長	岐阜県技士会会長								
中村 進	副会長	静岡県技士会会長	2/27 5/25		5/30		5/31			
生子 隆則	監事	静岡県技士会会長					5/31		5/31	
山田 壽久	副会長	静岡県技士会会長								
原 俊夫	理事	愛知県技士会会長			5/30		5/31		5/31	
藤井千代喜	副会長	愛知県技士会会長								
宮本 武蔵	副会長	三重県技士会会長	2/27 5/25		5/30		5/31		5/31	
小原 敬治	副会長	滋賀県技士会会長			5/30		5/31		5/31	
森本 治	副会長	滋賀県技士会会長								
絹川 治	副会長	京都府技士会会長								
三木 尚敏	副会長	兵庫県技士会会長	2/27 5/25		5/30					
生頼 正義	監事	兵庫県技士会常務理事								
貴志 敏一	副会長	和歌山県技士会会長	2/27 5/25		5/30		5/31		5/31 10/12	
伊丹 彰	理事	和歌山県技士会会長								4/7
来間 廉	理事	鳥取県技士会会長	2/27 5/25		5/30					
細田 繁基	理事	鳥取県技士会会長			5/30		5/31			

会長  副会長  専務理事  理事  監事 

(一社) 全国土木施工管理技士会連合会 歴代役員一覧

氏名	職名	所属	平成4年 (1992)	平成5年 (1993)	平成6年 (1994)	平成7年 (1995)	平成8年 (1996)	平成9年 (1997)	平成10年 (1998)	平成11年 (1999)
井木 久博	理事	鳥取県技士会会長					5/31	5/31		
高力 修一	副会長	鳥取県技士会会長								
下本八一郎	監事	鳥取県技士会会長								
梅野 悦宏	理事	島根県技士会会長	2/27	5/30			5/31	5/31		
筒井 寛	副会長	島根県技士会会長							5/31	
長岡 秀治	副会長	島根県技士会会長								
萩原 明	副会長	岡山県技士会会長							5/31	
武田 寛	理事	広島県技士会会長							5/31	
島田 伸彦	副会長	広島県技士会会長								
宮崎 衛	副会長	山口県技士会会長	2/27	5/25	5/30		5/31			
佐々木 久	副会長	徳島県技士会会長					5/31	5/31		
別枝 明	理事	香川県技士会会長	2/27	5/25	5/30		5/31	5/31	7/13	
村上 博	副会長	香川県技士会会長								7/13
白石 尚三	理事	愛媛県技士会会長	2/27	5/25	5/30					
岡 平八郎	理事	愛媛県技士会会長			5/30		5/31	5/31		
星加 隆夫	副会長	愛媛県技士会会長								
北村 牛基	副会長	高知県技士会会長	2/27	5/25	5/30					
有田 元士	監事	高知県技士会専務理事								
宮田 益吉	副会長	高知県技士会会長								
鍋田 政治	副会長	福岡県技士会会長			5/30		5/27			
平田 昭義	副会長	福岡県技士会会長						3/25	5/31	
古賀 英二	監事	福岡県技士会理事								
古賀 尚夫	監事	佐賀県技士会会長								
下村 敏明	副会長	佐賀県技士会会長								

会長 
 副会長 
 専務理事 
 理事 
 監事 

平成12年 (2000)	平成13年 (2001)	平成14年 (2002)	平成15年 (2003)	平成16年 (2004)	平成17年 (2005)	平成18年 (2006)	平成19年 (2007)	平成20年 (2008)	平成21年 (2009)	平成22年 (2010)	平成23年 (2011)	平成24年 (2012)
		5/31	—	5/30								
												5/28
5/30						5/31	5/30					
							5/30	5/30				
5/30												
5/30												
										5/31	—	5/28
5/30		5/31		5/31	—	5/30						
5/31	—	5/30										
												5/28
							5/31		5/30			
								5/31	—	3/20		
5/31	—	5/31										
				5/31		5/30						
									5/31		5/30	
										5/30		5/28

※平成24年度は、定款変更により就(退)任日は総会の日とする。

(一社) 全国土木施工管理技士会連合会 歴代役員一覧

氏名	職名	所属	平成4年 (1992)	平成5年 (1993)	平成6年 (1994)	平成7年 (1995)	平成8年 (1996)	平成9年 (1997)	平成10年 (1998)	平成11年 (1999)
宮川 政藏	副会長	熊本県技士会会長								
吉岡 林	理事	宮崎県技士会会長			5/30	—————		5/31		
木田 芳人	理事	宮崎県技士会会長					5/31	—————		5/31
伊東 照紘	副会長	宮崎県技士会会長							5/31	—————
黒木 幸紀	副会長	宮崎県技士会会長								
竹尾 通洋	副会長	宮崎県技士会会長								
竹下 晴彦	副会長	長崎県技士会会長								
大城 栄信	理事	沖縄県技士会会長	2/27	5/25	—————		5/30			
大濱 寛	理事	沖縄県技士会会長			5/30	—————		5/31	—————	5/31
小波津英正	理事	沖縄県技士会会長							5/31	—————
櫻尾 實	副会長	中央部会会長	2/27	5/25	—————		5/31		5/31	
赤松 惟央	理事	日本橋梁技士会会長								
大谷 孝彦	理事	日本橋梁技士会会長								
高木 録郎	理事	日本橋梁技士会会長								
原 幾人	理事	日本橋梁技士会会長								
坂野 和彦	理事	日本橋梁技士会会長								
須本 重徳	監事	日本塗装技士会事務局長								
木川 勝	監事	現場技士会常務理事								

会長 
 副会長 
 専務理事 
 理事 
 監事 

平成12年 (2000)	平成13年 (2001)	平成14年 (2002)	平成15年 (2003)	平成16年 (2004)	平成17年 (2005)	平成18年 (2006)	平成19年 (2007)	平成20年 (2008)	平成21年 (2009)	平成22年 (2010)	平成23年 (2011)	平成24年 (2012)
						5/31		5/30				
1/23												
								5/31	5/25			
									5/25	5/31		5/28
					5/31	5/30						
5/31			5/30									
5/30					5/31	5/31		5/2				
5/31	5/29											
	5/29	5/31	5/29									
			5/29	5/31	5/31	5/31	5/30					
								5/31	5/31			
										5/31		5/28
												5/28
										5/31		5/28

※平成24年度は、定款変更により就(退)任日は総会の日とする。

JCM

編集・発行

設立20周年記念誌

平成24年10月1日 発行

一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会

The Japan Federation of Construction

Management Engineers Associations (JCM)

〒102-0074 東京都千代田区九段南4丁目8番30号アルス市ヶ谷3階

TEL. 03-3262-7421 (代表) FAX. 03-3262-7420

<http://www.ejcm.or.jp/>

印刷

第一資料印刷株式会社

〒162-0818 東京都新宿区築地町8-7

TEL. 03-3267-8211 (代表)